てんとう虫コミックス スペシャル
ポケットモンスター
SPECIAL
23
まんが 山本サトシ
シナリオ 日下秀憲
©2006 Pokémon
©1995-2006 Nintendo／Creatures Inc.／GAME FREAK inc.
てんとう虫コミックス スペシャル
ポケットモンスター
SPECIAL
23
まんが 山本サトシ
シナリオ 日下秀憲
小学館
TCS-0254

作者のことば

山本サトシ YAMAMOTO Satoshi

●やまもと さとし

いよいよ第5章の本格スタートです。前巻で故郷に「帰還」したものの、新たなる敵の登場に、この始まりの町から再び旅立つことになったレッドたち。その旅はこれまで以上に熾烈を極める戦いの旅なのです!! すでに最強トレーナーとして完成されたかに見えたレッドたちが、この戦いにいかに挑むのか、みなさんのその目で、1コマもらさず確かめてください。

日下 秀憲 KUSAKA Hidenori

●くさか ひでのり

06・9・28。「ポケモンD・P」発売日。その日は新宿で「D・Pを世界最速ゲットせよ」という記念イベントに出陣、時刻は朝6時です。会場はすでに行列、ポケモンサンデー出演タレントさんも見えカウントダウン。その後、一般の列に並びソフト2本とDS Lite「D・Pエディション」をしっかり購入。普通のお店は10時開店なのでわずかでありますが確かに購入世界最速。こんなちょっとしたことが、でもかな～り嬉しかったりします。

>>> Cover Illustrated by YAMAMOTO Satoshi
>>> Cover Designed by MARUYAMA Tomomi (CUZCO MUCHO)

てんとう虫コミックス
スペシャル
ポケットモンスター
SPECIAL
23
まんが
山本サトシ
シナリオ
日下秀憲
©2006 Pokémon
©1995-2006 Nintendo／Creatures Inc.／GAME FREAK inc.

POCKET MONSTERS SPECIAL

23

まんが 山本サトシ

シナリオ 日下秀憲

歴代ポケモン図鑑所有者たちとその活躍

カントー地方

【第1章】

マサラタウンの少年・レッドは、オーキド博士から受けとったポケモン図鑑を手に、ポケモントレーナーの頂点を目指し旅立つ。同じ目的のライバル・グリーンとのバトル、少女・ブルーとの出会い、ロケット団との死闘を経験して、レッドはポケモンリーグでの優勝を果たす。

【第2章】

2年後。突如レッドが失踪する事件で騒然とするオーキド研究所に、謎のトレーナー・イエローがやってきた。レッドの消息を追うイエローの前に、ワタルを頂点とするカ

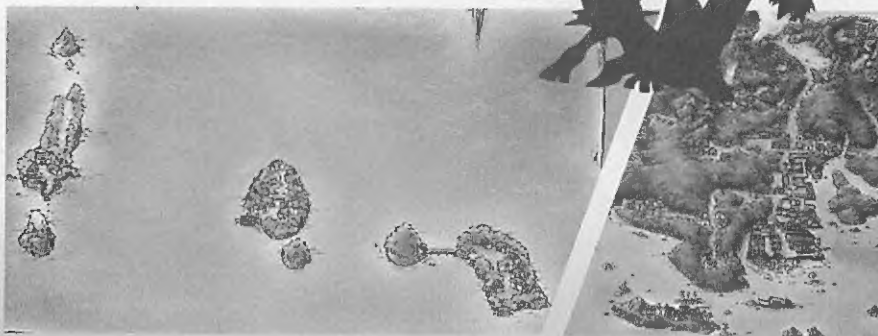
ント－四天王が立ちはだかる。スオウ島での決戦の末、イエローはカントー四天王の野望をくいとめる。

【第3章】

さらに1年後。ワカバタウンのポケモン屋敷で暮らすゴールドは、ウツギ研究所からワニノコを盗み出した少年・シルバーを追って旅に出る。反目しあいながらもやがて共闘することになるふたり。オーキド博士からポケモン図鑑完成の依頼を受けた少女・クリスも合流し、R団残党を率いて暗躍する仮面の男の謀略をついに打ち砕いた。

【第4章】

ポケモンコンテストに情熱を燃やす少年・ルビーは、引っ越し先・ミシロタウンの新居を家出する。道中、野生児のサファイアと出会い「コンテスト全制覇」

S SPECIAL OBJECT
カントー地方
レッド
ブルー
グリーン
サファイア
ルビー
「全ジム戦制覇」をかけて80日間の冒険競争がはじまる。その頃ホウエン地方では、アクア団とマグマ団による〝計画〟が進んでいた。その結果目ざめたグラードンとカイオーガによりホウエンは壊滅状態に陥る。が、ルビーとサファイアの決死の戦いにより、2匹はまた深い眠りへと落ちていった。
【第5章】
それから半年。オーキド博士に呼ばれ研究所にやってきたレッドとグリーンは、謎の敵から襲撃を受ける。さらに博士の残した「ポケモン図鑑をとりあげる!」というメッセージを聞き、ふたりは…!!

POCKET MONSTERS SPECIAL 23

もくじ

FIRE RED
LEAF GREEN

●第270話●

Pocket Monsters SPECIAL

The Fifth Chapter

図鑑所有者たちよ、
よく聞きなさい。
わしは今…、
おまえたちから
ポケモン図鑑を
取り上げる!!

わしの机の
パソコンが
「どうぐあずかり
システム」と
つながっている。
そこに
おまえたちの
ポケモン図鑑を
おくのだ!!

何度聞いても
同じだ。
オレ宛ての
ボイスチェッカーも、
オーキド博士からの
同じ言葉しか
ふきこまれていない。
……。

グ、
グリーン!

カチカチ
ウィーン
スッ
……。

シュウウウ

オレたちの図鑑が…、消えた!!

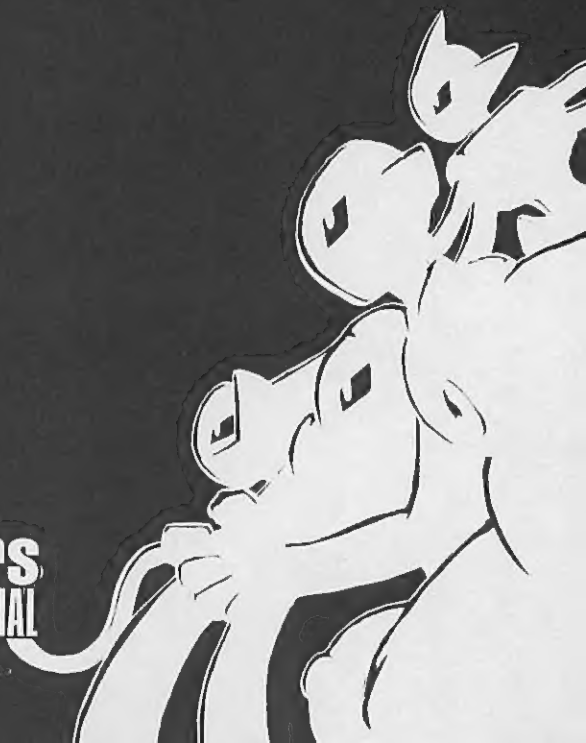
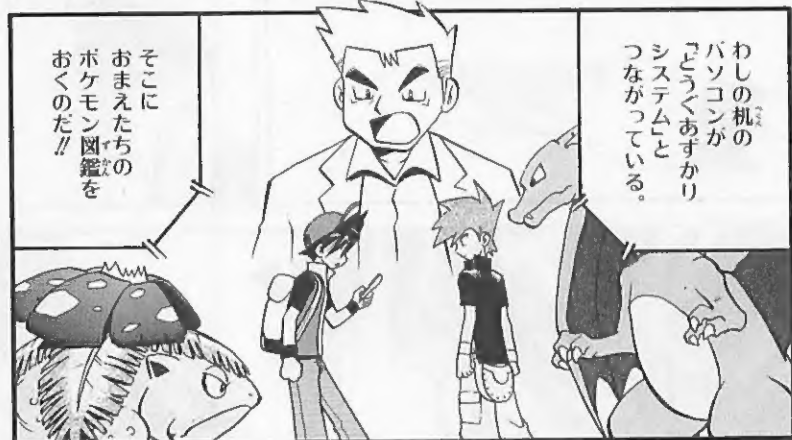
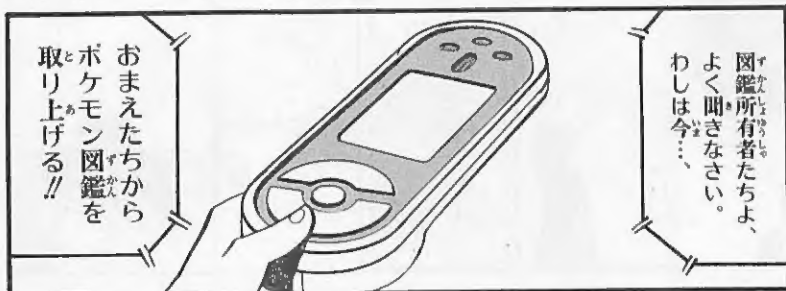
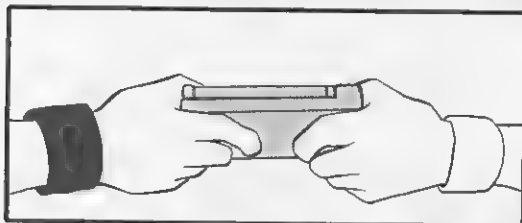
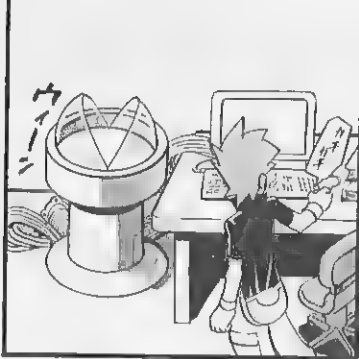
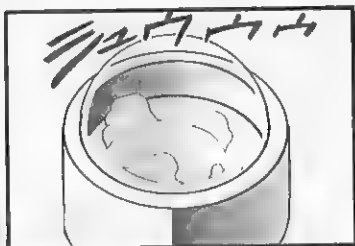
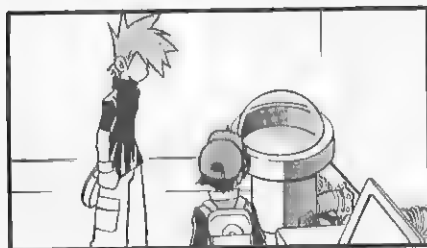
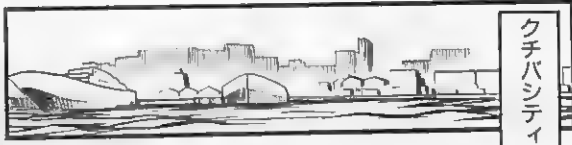
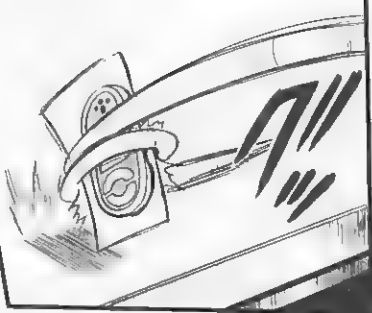
正直言ってなぜ、図鑑を取り上げられてしまうのか…、オレにはまったくわからない。
…だが…。

オーキド博士がそうしろと言うのなら、まよわずそうする。
そうだよな!オレも同じ気持ちだ!!

プテ!!

行こうグリーン
クチバシティへ!!
ああ!!

クチバシティ

おや？

ずいぶん早くから待ってんだな。
出航時間はまだまだだよ。
何か待ちきれない理由でもあんのかい?
父と母に会いにいくんです。
長いあいだはなれればなれになっていた父と母に…。
そっか。そりゃあ楽しみなわけだ。
…よし! そういうことなら…。
時間前の乗船を許可しちゃおう!
同じ待つんでもそのほうが楽しいだろう?
ほんとうですか!?
おじょーちゃんかわいいし!

トライパス持ってっか?
トライパス
ハイ!

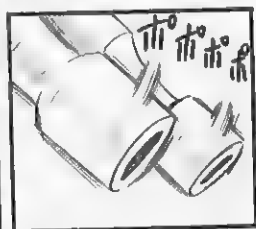
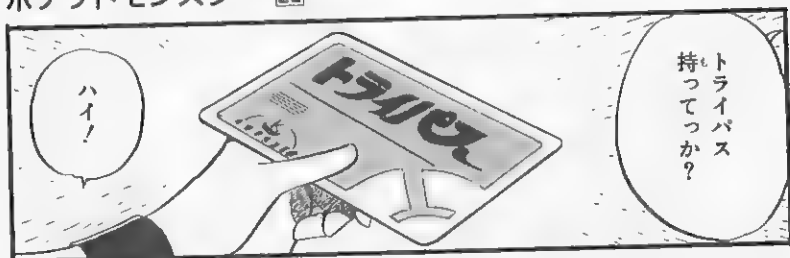
ありゃ?でも待てよ。乗船タラップをまだつけてなかったっけ!
あ、大丈夫です!
カメちゃん!
にゅっ
!!!

せえの!!
ポポポポ
うおお!!

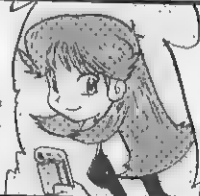
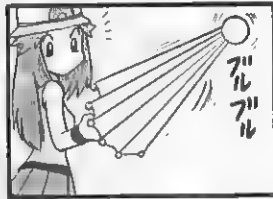
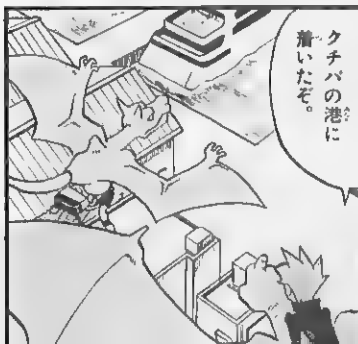
ダっ

ありがとー!!
船員さーん!!

船の中
探険して
みるわー!!

ドドドドドドッ

あーーっ!!

ブルー

ポケモントレーナー。
ポケモンリーグ３位入賞
経験あり。

どこもかしこもすっごい豪華な船だねー！

みんなも見てごらん。

ねー！

ブルブル

にゅ～～

どしたの？メタちゃん。

キョロキョロ

ザ
ザ
ザ

きゃ!!

カメちゃん!!
みんな!!

どわ!!!

ザザッ

さあ、降下だ!!

びっくりした〜。

ん?

お客様に
申し上げます!!

ドドドドド

本船
シーギャロップ号は
クチバ港より
まもなく出港
いたします!!

ズガガガガ

まずは相手の正体をたしかめなきゃ!

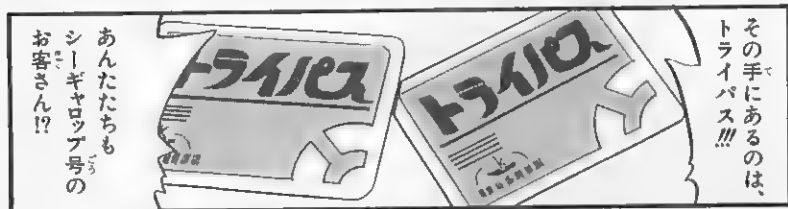
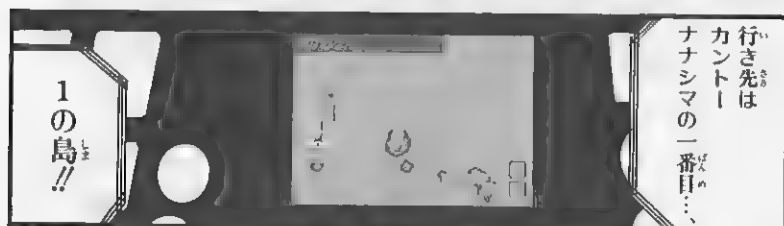
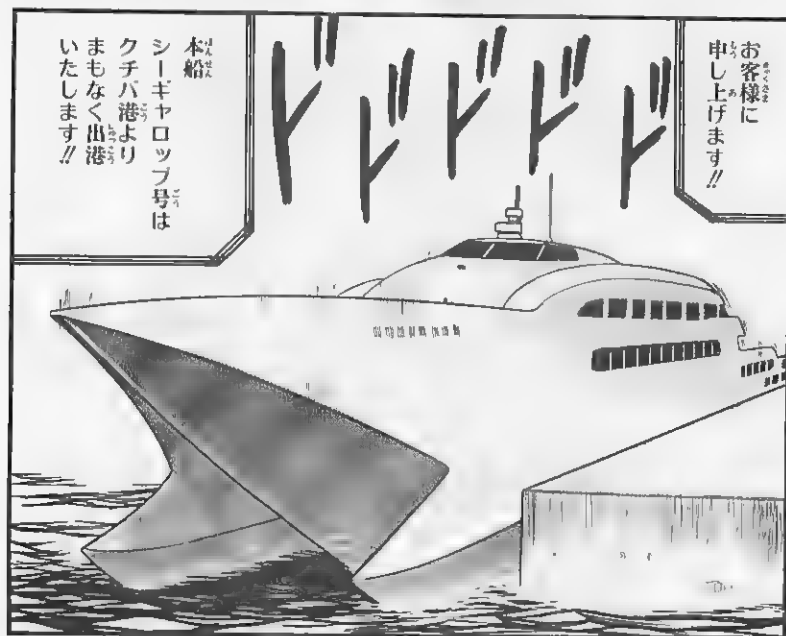
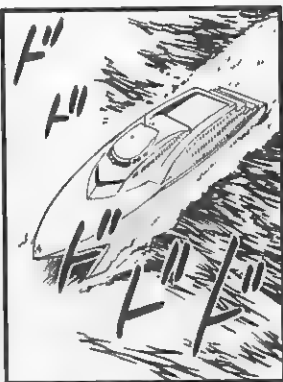
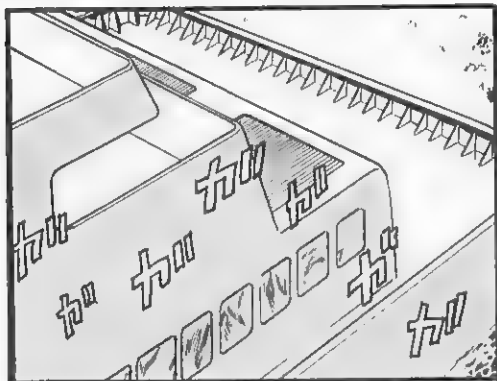
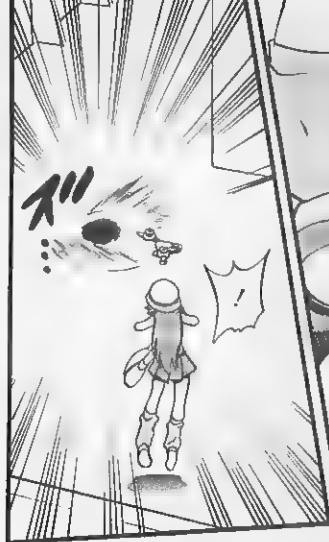
はっ!!

…そうだ!! 今は図鑑、なかったんだっけ!!

…だったら、
これ!!

見えない敵の姿を見る、
シルフスコープ!!

あらゆるポケモンに対応できるように改造をほどこしてあるわ!
さあ!
正体を見せなさい!!

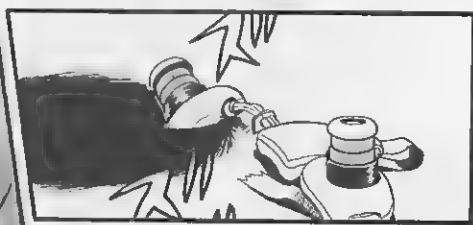
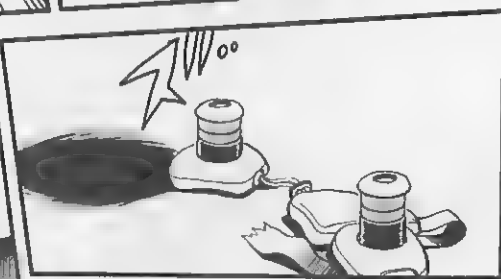
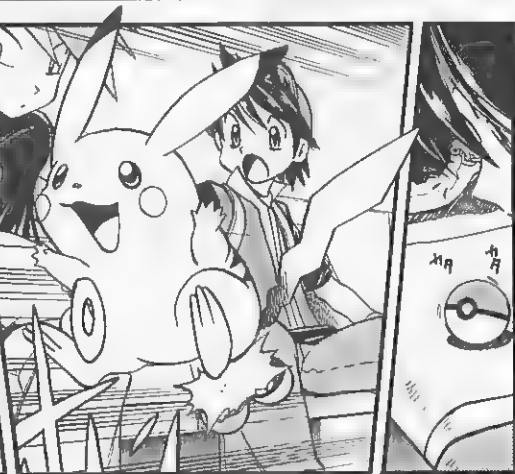
あれは……!
あ……!!
わ!!

ぐ…く。
く、苦し…い
声が出ない…、
動けな…い!!
見えない何かで
しめつけ
られている…。
ズ…
!
ギ
ギ
シルフ
スコープが…!!
闇に…
飲みこまれる!!!
パキィン!

ドドドドド

う～ん…。

オーキド博士がオレたちあてにおいていった「トライパス」。
この船の乗船券だったのか…。
トライパス

ワケもわからず乗りこんじゃったけど、この船の行き先、「1の島」っていったいどんなところなんだろう。
知るか。

カタ
カタ
おいピカ、どうした?
ん?

お、お、見おぼえのあるピカチュウ!
まさか。
あががが!!
たっはー、この電撃!やっぱり…、
ピカ!
ちゅーことは、
レッド!グリーン!
マサキ!!
ひさしぶり!元気やった?
今日は…、ナナミ姉さんとはいっしょじゃないのか?
そ、そやねん。
ナナミはんには留守番をしてもろてるさかい。

しかし、まさかレッドたちがシーギャロップに乗ってるとはな。
1の島にはなんの用？観光？
イヤ、オレたちは…。
めっちゃあったかくてええとこやで！わいも仕事やなかったら…。
じゃあ、マサキは仕事で？
せや。転送システムの調整で、ニシキっちゅう研究仲間に会いに行くねん。
転送&あずかりシステムを作った仲間がおってな、
今は全国にバラバラやけどニシキはそのひとり、
「ナナシマ」のシステム管理者っちゅうワケや。
アズサ
マユミ
ニシキ
な、ナナシマ？
なんや、知らんのかいな？これから行く1の島をふくめた7つのはなれ島や。
あ、ちょっと待って、ウワサをすればニシキや。
もしもし、マサキや。
もうすぐ着くで。そっちはどや？

あいかわらずですね。あずかりシステムがつながりません。
というか、よりひどくなってるんですよ。
カントー地方とだけ不調だったのが、今度はナナシマの間でさえもダメになりました。
う～ん、何が原因なんだろ？
しゃーないな。わいが直接調べるさかい、ネットワークセンターにおってな。

ご乗船のみなさま、長らくおまたせしました。

船、着いたみたい。
だったらなおさらコイツを…、
この見えない敵を…
…島に上げちゃいけない!!

誰かに知らせなきゃ…。

パパ!!
ママ!!

闇が…!!!

さっきシルフスコープを飲みこんだ…闇が…!!!

ズズ

ん？

あれ、ブルーじゃないか!?

様子が変だ!!

行ってみよう!!

ダッ

パパ！
ママ！
ダメ!!
来ないでえぇ!!!

ズズズ
シュゴッ
どうして……。
パパ!!!
ママ!!!
どおしてえええええ!!!

レッド RED

●出身地：マサラタウン
●誕生日：8月8日
●血液型：O型
●年齢：16才（第5章現在）
●賞歴：第9回ポケモンリーグ（カントー・ジョウト大会）優勝

オーキド博士からポケモン図鑑を託され、カントー中を旅したトレーナー。

最初は熱血で元気だけがとりえの少年であったが、旅の中で新しいポケモンや人びとと出会い、ロケット団と戦って成長、第９回ポケモンリーグ優勝をおさめるほどの実力を身につけた。

その後、カントー四天王との戦い、ジョウト地方で起こった仮面の男事件でも、初代図鑑所有者、ポケモンリーグ優勝者としての力を発揮、解決に大きな役割をはたした。

現在グリーンとカントー・ナナシマへ向かう途中。事態はかつてない大きな事件を予感させるが…。

Pocket
Monsters
SPECIAL

ど、
どうして…。
ブルー!?
パパ…、
ママ…。
ヨロッ
ど…うして…、
まずい!!
ニョロ、
たのむ!!
ポムッ

いいぞ、ニョロ!!
戦いの相手…、
まだ近くにいるのか…?
ハッサム!!

!!
姿なき敵を…、
はさみ切れ!!

ラファウウウ

すでに…
この場にはいないということか…。

グリーン!!
早く病院へ!!

月 日
あした、やっとパパとママに会える。

……。

数時間後――

ポケモン
ネットワークセンター

ありがとうな、ニシキ。

なにせ勝手のわからん場所やよって…、おまえがおって助かったで。

いいえ、マサキさん。このセンターの救護ブースがあいていてよかったですよ。

あした、やっとパパとママに
会える。

なら、やっぱりさっき消えたのは…、
ブルーの両親なんだな…!!

まったく…、なんてことや。

同情したり、だまりこんだりなら誰でもできる。

大切なのは…、なぜこんなことが起きたのか…、それを探ることだ。

む。
パラ…

ここに来るまでのブルーの足どり、昨日まではマサラにいたようだ。
え!?

そして…ブルーもやはり「オーキド博士に図鑑を返した」
と、書いている。
!!

「博士に図鑑を返し、」
「得体の知れない敵に襲われた」!!
オレたちと同じじゃないか!!
きゃ!!

そうだ。偶然ではないな、この一致。
日記をひろってきたのは上出来だ。

ブルーのシルフスコープ!!

だがオレは…。
もっと使えるものを見つけてきた。

ハデに破損しているが録画機能は生きていた。
おそらく敵と戦ったさいにつけていたんだ。

このスコープの中に!!

!!!

な、なんや!!?
こいつは…!!!
も、もう
ワケのわからん
ことだらけや!!
敵の正体はわからん!
どんな能力なんかも
なんで襲ってくる
のかもわからん!
なぜ!!
なんのために!!!
ああ、
たしかに
わかんない
ことだらけだ。
でも、いっこだけ
わかってることが
ある!

オレとグリーンはこの敵と戦う!!

…そして、どんなことがあっても、倒す!!

ほ、ほなどないすんねん。
上げるしかないだろうな、オレたちの実力を。

あ、あ、
あ〜の〜な〜。

わいはこの5年間でレッドとグリーン以上に強いトレーナーに会うたことないで。
自分らこれ以上どうやって強なるゆうねん!!
アホか!!
なんでそこまでムリする必要があんねん!!

オレもグリーンもブルーがどんなに両親に会いたがっていたか…、
その気持ちを知っている!!

やるしかないんだ…。

目の前でオレたちの友だちがあれほどつらい目にあったんだ。
戦う理由としては…十分だ!!

……。

とはいえ時間をかけて、というわけにはいかない。
短期間でどうやってレベルアップするか…。
う〜ん。

あるよ、強くなる方法。
この1の島、「ごえんがあつまるむすびじま」とよばれてるけど、
あったねえ、ふしぎな縁。
さっき船つき場であんたたちを見たとき、ビビッときたよ！
あんたたちなら、受けつげるかもしれない、
わしの…、
究極技を!!

レッドチームのポケモン 1

ピカ／ピカチュウ♂ でんき

- LV.88（第271話現在）
- 特性：せいでんき
- なまいきな性格

ニビでレッドと出会い、以後チームの先頭として活躍。レッド失踪事件では、イエローと行動をともにした。

ニョロ／ニョロボン♂ みず かくとう

- LV.80（第271話現在）
- 特性：しめりけ
- ゆうかんな性格

レッドが幼いころ、はじめて手にしたポケモン。レッドとの戦歴は最も長く、縁の下の力持ち的存在。

フッシー／フシギバナ♂ くさ どく

- LV.82（第271話現在）
- 特性：しんりょく
- おとなしい性格

レッドがオーキド博士に出会った日、図鑑とともに託された。数かずの冒険で最終進化形まで成長した。

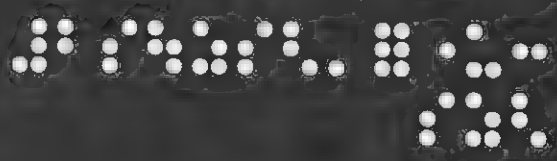
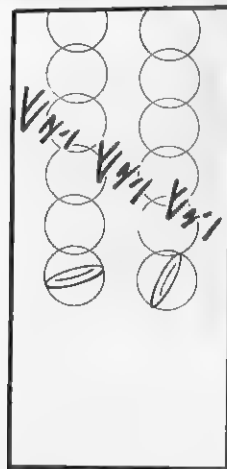
Pocket Monsters SPECIAL

The Fifth Chapter

ビビッと来たよ！
あんたたちなら
受けつげるかも
しれない!!
わしの
究極技を!!
…………。
うぬゥオオオ!!
待ちなっしゃあああああい!!!
急いでいる。
悪ふざけなら
よそで
やってくれ、
ばあさん。

ギュオオオオ
リザードン!!!
フッシー!!!

…な、
何をする!!

カガッ

しかたないだろう？
あんたたちが
スタスタスタ〜っと
行っちまうから
なあ。
ひきとめる
ためさ。

スッ
そして…、

ポケモン
トレーナーなら
ポケモンで、
ビシッと
おいで!!!

ゴゴッと
うなれ!!
業火の力!!!
シャシャッと
はなて!!
新緑の力!!!

さあて、そろそろ次の出航準備にかかるとしよ…、
!!

うわわわわ!!
あ!!!
あ、マズ

ちょ、ちょっとォキワメさん！また、なんてことしてくれんのォ!!
うくむ、スマン、思わず気持ちがカ～ッとなってはりきりすぎちまったよ。

もう!!「ほてりの道」や「ともしび山」を観光したいっていうから乗せてきたのに、
こんな悪さするなら、2の島にもどってもらうよ!!

わかった!?キワメさん!!
わかったわかった、そう年寄りをイジメるな。
!!
キワメ?

キワメ…、キワメ…。
知ってるのか?マサキ。

いや、そないな名前ちっちゃいころに聞いたことがあるんや。
本土からはなれた島にひとり住み、ポケモンの究極技伝承を守っとるおばあさんがおるって。
そのおばあさんの名前がたしか…、
キワメ!!

お〜〜く、スキッと話せるのがおったなあ。
それ、わしのことじゃ。

究極技の伝承者だと!?
どれほどのものか知らないが、オレたちがこんなものをはめられるいわれはない!

そりゃそやな、とくに「レッドの手に輪っか」は縁起が悪すぎや。

さあ、はずせ!!

つ〜ん

いっとくけどね
その輪を
はめてるかぎり、
わしから
20尺以上
はなれられない
からね。

※1尺…約30センチ。20尺は約6メートル。

いいかげんに
しろ…、

!!

レッド…。

おばあさん。

さっきの攻撃を見て
すごいと思いました。

あなたが
究極技伝承を
守ってきたというのは
ちょっと信じられない
けど…、

…でも
信じてみよう
と思う。

オレたちは強くなる必要がある!!
もっと…!もっと…!!!
教えてもらえませんか?
あなたが守ってきた究極技、その伝承を…!!
もちろんさ。

ドドドドドド

ご乗船ありがとうございます。
当船が次に向かいますのは、2の島。

どういうつもりだ、レッド。

ん?何が?
何が、じゃない。
グーーズピ〜〜

おまえ、本気であのばあさんから教えを受ける気か?
ああ、本気だよ。
だってグリーンも見たろ?あのおばあさんの実力を。

オレたちより確実に強い!!
そんな人がオレたちに、ずっと守ってきた技を伝承してくれるっていうんだぞ。
チャンスだと思ってんだよ、まちがってるか?
まちがっちゃいないさ。
あのばあさんはオレたちよりも強く、そして究極技の伝承者だというのもおそらく真実だろう。
…だが…、だからこそ…、
簡単に相手にしたがってはいけない場合もある。
え!?
たとえば、もしあのばあさんが敵だったらどうする?
オレたちを襲ったヤツの仲間だったり、今回の事件の黒幕だったりしたらどうする?
しかもオレたちはそんな相手から、逃げられない状況におかれている!

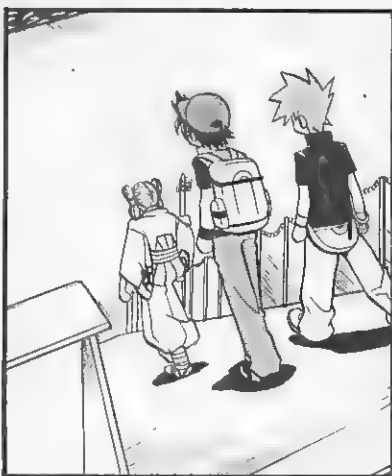
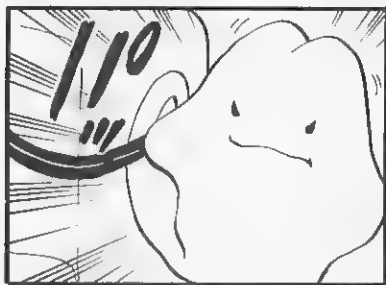
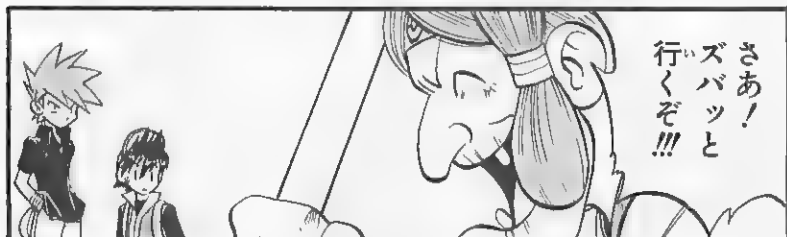
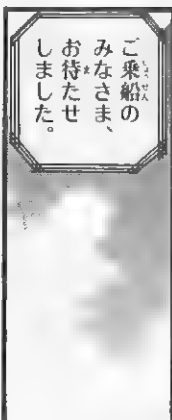
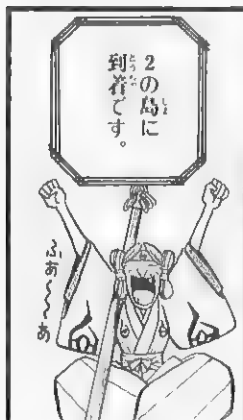
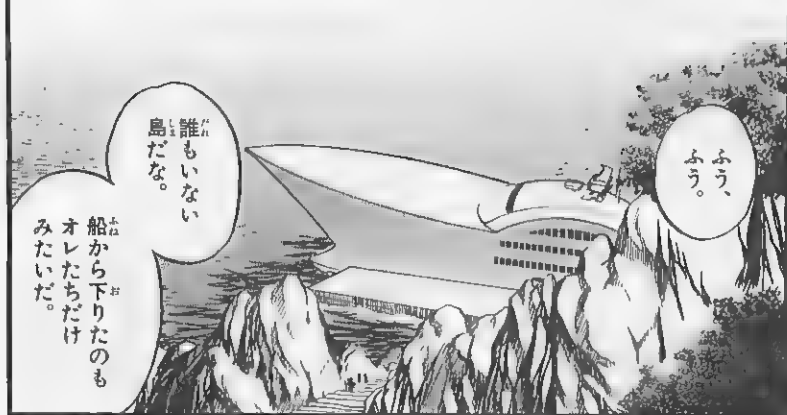
く、黒幕!?
そうなのか、
グリーン!?
可能性の話を
してるんだ。

ご乗船の
みなさま、
お待たせ
しました。

2の島に
到着です。
ふあ～～あ

さあ!
ズバッと
行くぞ!!!

にゅ～～

パ

ふう、ふう。

誰もいない島だな。

船から下りたのもオレたちだけみたいだ。

入ってみい！
ここで技を教えてくれるのか。
バカたれが!!
いきなりスラッと教えてもらえるとでも思ったか!!
技の基本は体力！
とくに足腰じゃ!!
ほれ、さっさとフシギバナとリザードンを出せ!!
フシギバナのツルを…、
そら！持たんか、リザードン。

2人はこのツルをなわとびに見立てて、シュッと跳べ!!
ただひたすらとべ!
ただし、ろう下はうしろへ向かってズィーッと動くからな!
わしは外から見守っていてやる。
たん!
たん!
たん!
たん!
「跳ノ道」って……こういうことか!!
一度でも引っかかったら、スタート地点までもどされてしまう!

で、これをいつまでやればいいんだ!?

もちろん、ろう下をビシッとわたりきるまでさ!

そうそう、鍛練の内容は10町ごとに変わるからね。

22年前にこれに挑んだ者は、8時間かかってようやく3分の2わたったところで力尽きてあきらめたっけ。
せめてそれよりは上を行っておくれよ。

※10町…約1.1キロメートル。

案の定だ、レッド!
こんなことが究極技の伝承か!?

そう言われるとオレもこまっちゃうんだけど…、
ハアハア。

リザードン、ちょっと跳びにくい。回転を速めてくれ。
フッシー、もう少しゆっくりやってくれ!

……。

フ、フッシー、リザードンの呼吸に合わせて!!
たんっ
ハァ
ハァ
たんっ
ハッ
たんっ
ハイ
ぬ、ぬけたァ!!
拾
道
さあ!次のろう下じゃ!!
ほっほう、さすがじゃなァ。
ハァ
ハァ
ハァ
用意されたドードリオに乗り!!
スピードアップするろう下を走りぬける!!
だーっ
ただし!!
途中で落下してくる木の実を1つ残らず受けること!!

しまった…!
パシッ
グリーン…。

さあ、最後の10町だよ!!
大丈夫か、レッド?
ハァ
ハァ

次は「戦ノ道」。何と戦うんだ?
戦ノ道
ハァ
ハァ
ハァ

相手は目の前におろう?
!!
どういうことだ!?

言ってなかったかい?
わしが究極技をさずけるのは…、
あんたら2人のうちのどちらかだけだよ。

レッドチームのポケモン 2

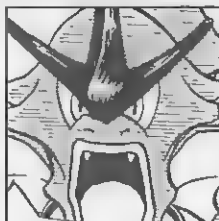
ゴン／カビゴン♂ ノーマル

- LV.89（第272話現在）
- 特性：めんえき
- わんぱくな性格

大食いで寝てばかりだが、いざというときにはその巨体から繰り出される重量級の攻撃が頼りになる。

ギャラ／ギャラドス♂ みず ひこう

- LV.84（第272話現在）
- 特性：いかく
- さみしがりな性格

カスミからゆずられたポケモン。水場での戦いに精通していて、繰り出す技も強力な水タイプのものが多い。

プテ／プテラ♂ いわ ひこう

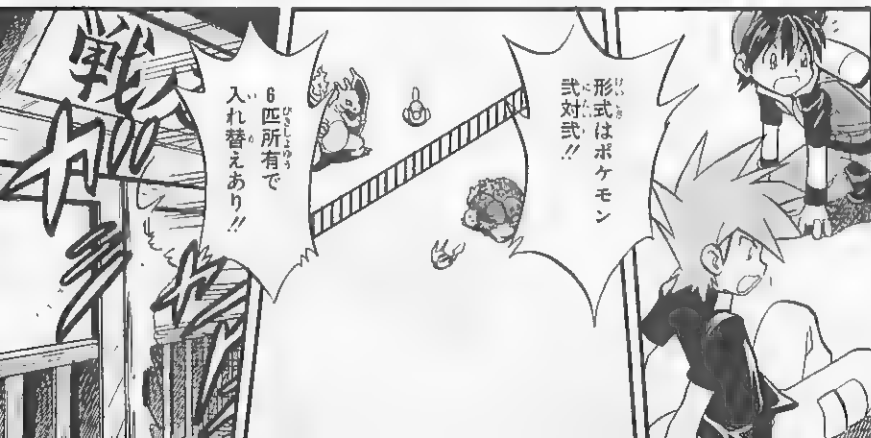
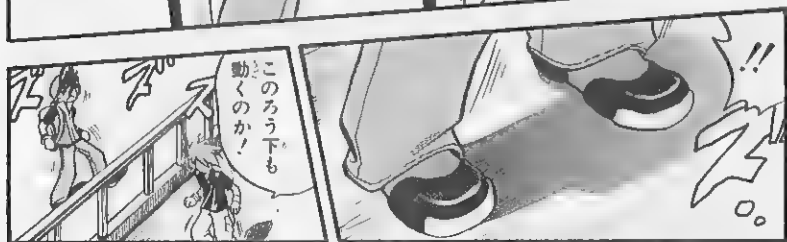
- LV.85（第272話現在）
- 特性：いしあたま
- せっかちな性格

サカキにもらった「ひみつのコハク」をグレンジムで復元し仲間となる。空を飛ぶ能力が様ざまな状況で活躍する。

●第273話●

Pocket Monsters SPECIAL

わしが究極技をさずけるのは…、
あんたら2人のうちどっちかだけだよ。

このろう下も
動くのか！
!!

1番目の「跳ノ道」は、後ろへ下がるろう下！
2番目の「拾ノ道」は、前へ向かってスピードアップするろう下だった！
オレとグリーンのいる側で、それぞれ独立して動くろう下!!
そしてこの「戦ノ道」は…！
そのとおりさ！しかし、それだけじゃないよ。
ろう下の速さはポケモンの攻防に連動する。
!!
攻撃を加えたほうのろう下は前向きに速度を上げるし、
ダメージを受けたほうのろう下は後ろ向きに速度を落とすってワケさ。
先に向こう側へ着いたほうの勝ち!!

さあ!!
試合開始!!!

…まさかレッド、
おまえとこんなところで
試合することに
なるとは…。
ああ…グリーン、
オレも
おどろいてる。
しかし
合理的に考えれば、
別に全力で
戦わなくても
いいワケだ。
!!

最終的に技を伝授
してもらえるのは
1人…。
オレは
それが自分であろうと
レッドであろうと
かまわない。
「敵」と戦うときの
戦力になるなら
どっちの技でもいい。

今ここで
オレがわざと
負ければ
技はおまえの
ものだし…、
おまえがわざと
負ければ
技はオレのもの…、
かんたんな話だ。
…そう
だけど…、
グリーン、
おまえは
それで
いいのか!?
問題は
そこだ…。

ゴルダック
〃アイアンテール〃!!

ポリゴン2
〃トライアタック〃!!

かんたんにすむ
話なのに、
相手がレッド…、

おまえとなると
そうはいかなくなる。

……。

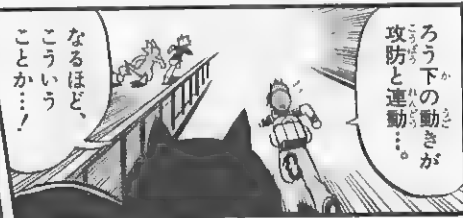
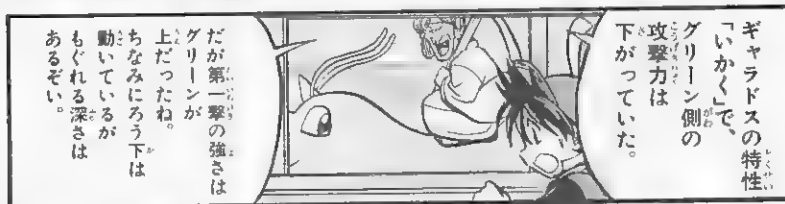
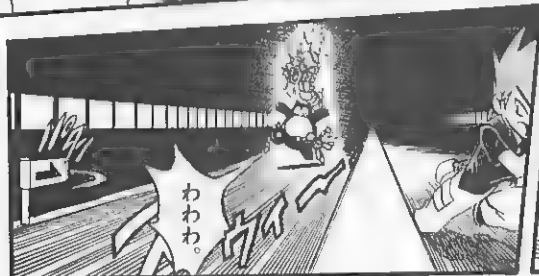
全力で
戦いたくなる!

オレもだ!

ギャラ！
"のしかかり"!!!
ゴン！
"かいりき"!!!

"はかいこうせん"!!

ぐっ!

これだけ
距離があいていて
この威力!

ゴルダック!
ここは一度
姿をかくせ!!

ゴン!
"じしん"!!!
しまった!!
ゴゴゴゴ
"じしん"はフィールド全体を支配する技…!
ゴルダックとポリゴン2 2体同時にダメージを…!
それだけじゃない!"あなをほる"でろう下の下にいたゴルダックには…、
通常の倍近いダメージがくる!!

ゴルダック!!

バダッ

おまけにひこうタイプである自分のギャラドスは、〃じしん〃の影響下にいないときた。

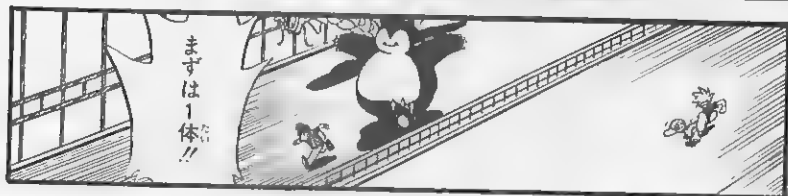
ここはレッドのうまさが出たね。

まずは1体!!

よくやったぞ!ゴン!ギャラ!

ギャラ!?

マヒしてる!!最初に受けた〃トライアタック〃がじんわり効いていたのか!!

まずい!

思い出すな！レッド！
あのときと同じだ！前々回のリーグのような…、
全身がわき立つようなあの感覚!!
あ

●第274話●

Pocket Monsters SPECIAL
The Fifth Chapter

〝ちきゅうなげ〟‼

また！あの
4本の腕に
やられた!!

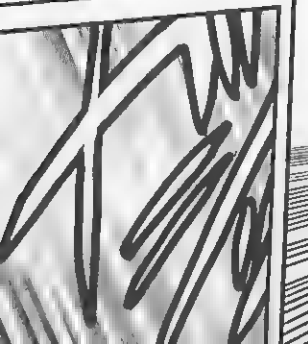
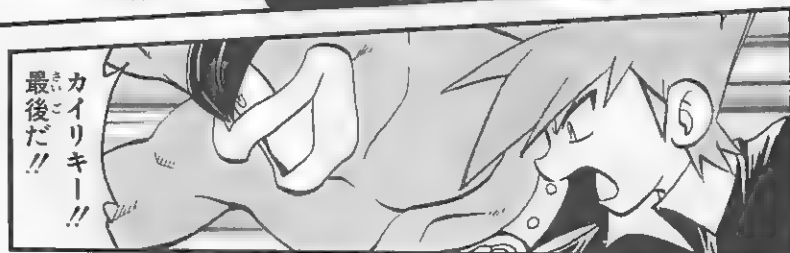
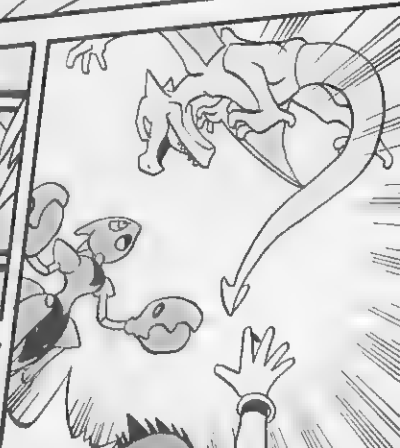
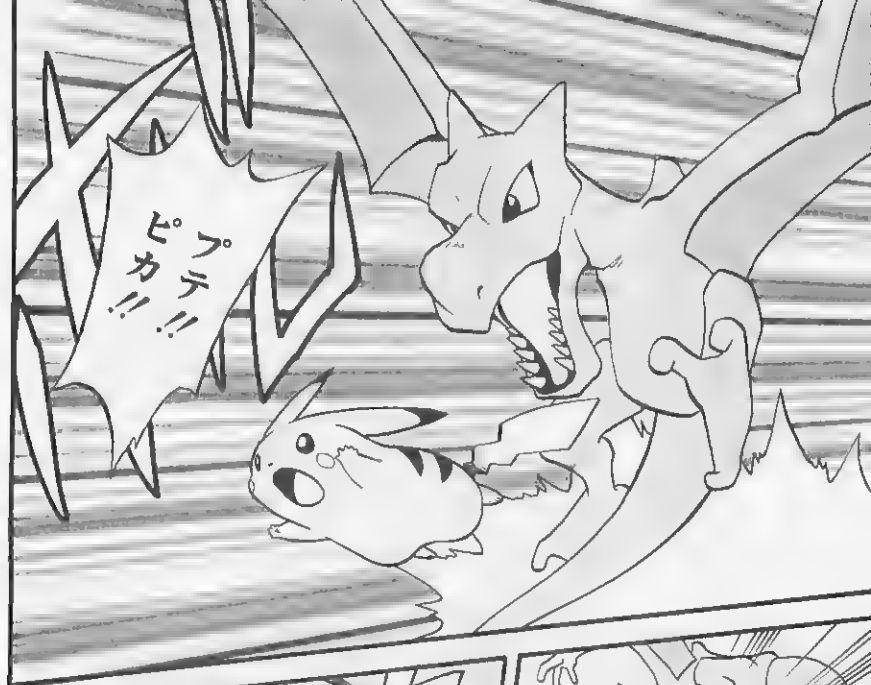
しかも、
ハッサムの
急降下による
勢いもプラス
されて!!

カイリキー!!
最後だ!!

〝けたぐり〟!!!

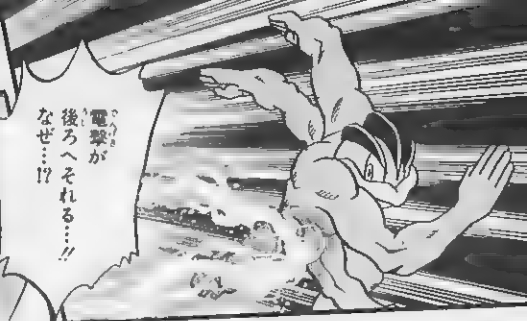
レッドが最初にゴルダックを戦闘不能にしたと思ったら、
ヒヒヒ、グリーンも負けてなかったね。
ポリゴン2を引っこめてまったく別の2匹に入れ替え、すかさず応戦とはね!

まだだ、ハッサム!
"はがねのつばさ"!!
くっ!
ゴン、ギャラ、よくやった!!

プテ!!
ピカ!!
空中戦だ!!
いけえっ!!
オレのプテの特性は「いしあたま」!
どれだけ〝とっしん〟しようとも、その反動を受けることはない!
何度でもぶつかり合うぜ!!

グリーンが追いついたね！両者の速度は全くの互角！…さて！
〝ドラゴンクロー〟!!
もどれ、ハッサム!!
パシュッ
チャンスだぞ、ピカ!!
！

電撃が後ろへそれる…!!
なぜ…!?
ニッ
!!

ギュウイイイ
サイドン!!

特性「ひらいしん」…か!!

そうだ!電気攻撃を1か所に集める力!!
ピカの電撃をカイリキーに当てることは不可能!!

レッド!全力でぶつかり合って、残るメンバーも同数!

しかし!勝負はポケモンの数ではなく、どっちが先にゴールに着くかで決まる!

ゴールまで
あとわずか!!
勝つのは…
オレだ!!
いや!
負けないぞ!!
最後まで
全力で…!!
ピカ!!
だっ
電撃が
とどかないのなら…!!
だん!
肉弾戦だ!!
〝アイアンテール〟!!

くっ!!

!!
!!
ハーハー
ゼェ
ゼェ
ゼェ

ど…どっちが…速かったんだ？オレと…おまえ。
!!
!!
!!

さあ…、同時のような…気が…するけど…。

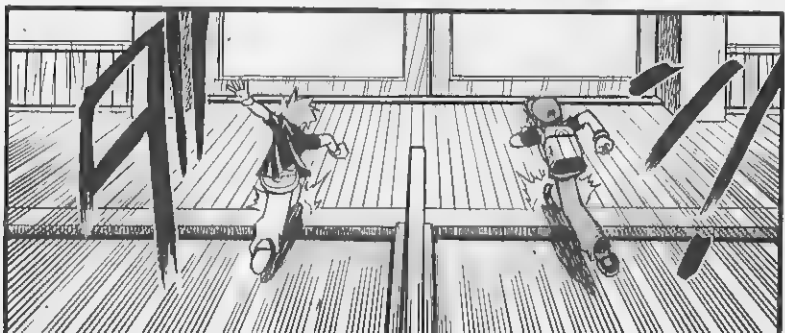
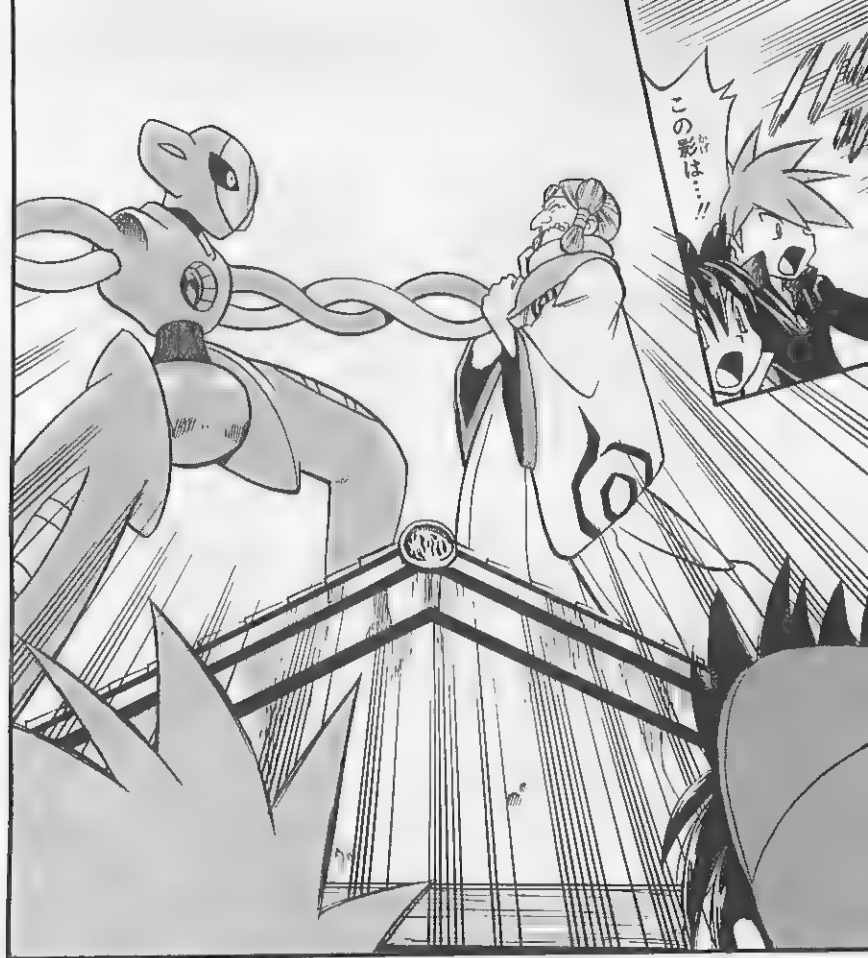
ばあさん！ろう下を渡りおえたぞ!?
ジャッジはどうなんだ!?

シ～ン

!?

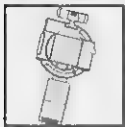
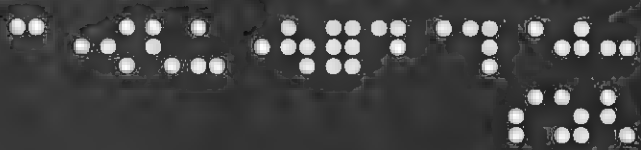
ばあさん？

この影は…!!

ぐっ！
しまった!!
な…何もこんな
へとへとのときに
出てこなくても…。
言ってる場合か！
確実に
やられるぞ!!
ばあさんに
つけられた
腕輪が…
光りだした!!
何か…文字
みたいなのが
浮き出ている!!
は…はあど
ぷらん…と、
ぷらすと…
ば…あん…。

何を言ってる!? ばあさん!
グリーン、見ろ!!
フッシーとリザードンが反応してる! …もしかすると、
おばあさんの言ってた究極技…。
まさか…!!

悩んでたってしょうがない!!
ここはイチかバチか!!
バードプラント!!
ブラストバーン!!

グリーン GREEN

●出身地：マサラタウン
●誕生日：11月22日
●血液型：AB型
●年齢：16才（第5章現在）
●資格：ジムリーダー試験合格、トキワジム就任中

　レッドの良きライバルにして、一番の親友。第9回ポケモンリーグの準優勝者であり、レッドと同等の実力を持っている。ポケモンの権威・オーキド博士の孫で、姉にナナミがいる。

　常に冷静沈着で、敵の目的や戦いの流れを瞬時に見ぬくことにおいてはグリーンの右に出るものはいない。

　現在は、レッドとともにナナシマ事件の謎を追っている。

Pocket Monsters SPECIAL

げへへ、ここが3の島か!!

壊しがいのあるいいところじゃねえか!!

おもしれえ!!
木の実は全部
オレたちのもんだ!!
とったあとは
島に火を
つけてやれ!!
おう!!

待てー。

つかまえた…、

!!

なんだあ!?
このガキャあ!!!
あ、
あう…
あう。
チョロチョロ
してんじゃねえ!!

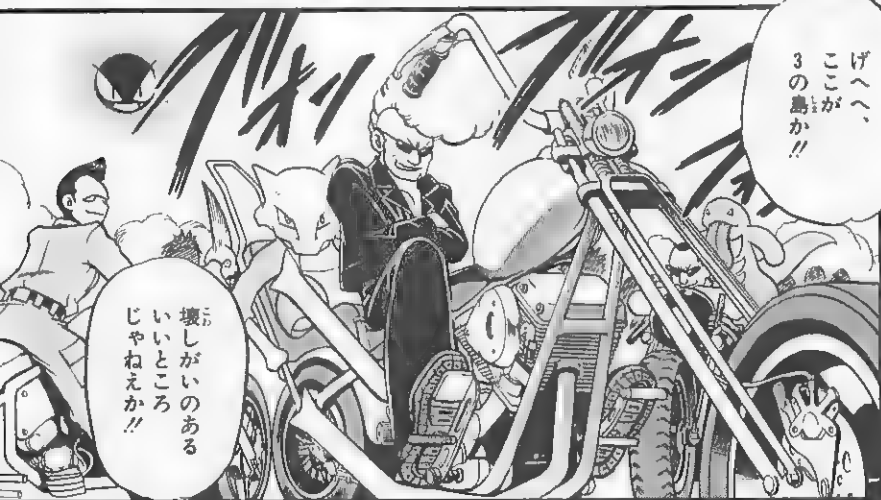
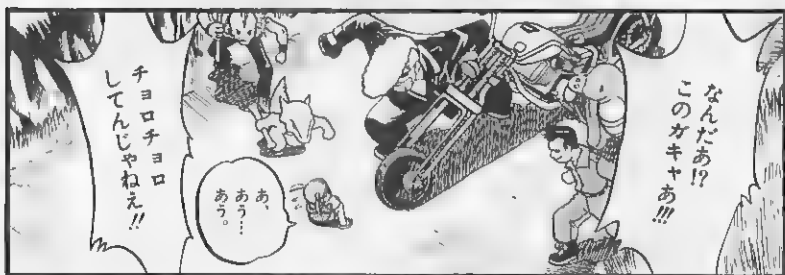
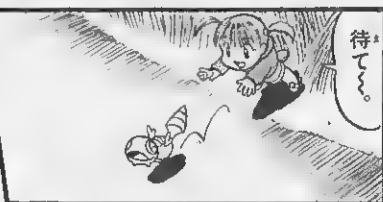
うわぁん、ごめんなさぁい!!
うっせえ!! わめくな!!
ふみつぶすぞ、コラァ!

ん？

1の島――
ネットワークセンター
ふう…。
しかし大丈夫やろか、レッドたち…。
いきなりあんなばあさんについて行ってしもて…。
どないなことになっとるやら…。

いやいや！わいも他人の心配してる場合とちゃうわ。
早よ、この機材持っていってポケモン転送システムを修理せんと…、
!!

ブルー…。

まだ、意識…もどらへんのか…。

じゃあ、行ってくる！
マサキ、ブルーのことたのむ！
そ、そやな…しっかり見とくさかい安心しとけ！
うん！
ああっと！待った、レッド!!ひとつ聞きたいことがあるんや！
船の上で言うとったやろ？
自分ら、オーキド博士の指示でここに来たって。
ああ、研究所に「博士のメッセージがふきこまれたボイスチェッカー」と「船の乗船券、トライパスの入った封筒」があったんだ。
それ、レッド、グリーン、ブルー、3人宛てにそれぞれあったんやろ？
コクン
ちょっとおかしないか？

ブルーはブルーで自分でトライパス持っとったんやろ？

レッドたちより前にオーキド博士に会うとったみたいやし。

ほんなら3つならんでたうちブルーの分には何が入ってたんや？

ボイスチェッカーにはどんなメッセージがふきこまれてたんや？

……。

実は…オレも同じことを思ってた…。

ブルー宛ての封筒やボイスチェッカーを調べれば、もしかしたら今回の事件のヒントがあるかも知れないって…。

…でも、

だから
置いてきた…、
ブルーのとこに…。
To BLUE

マサキさん!!
!!ッ

こっちの準備は
できました!
急いで
ネットワーク
マシンの方へ!!
そやったな!
すまん!!

どうも
システム自体が
大きな外的
エネルギーの
影響を
受けているよう
なんですが…。
ホンマや!
なんやこれは!!
あ〜、くそっ!!

うぐぐぐ。

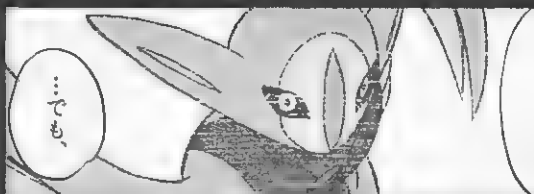
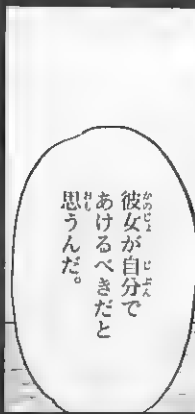
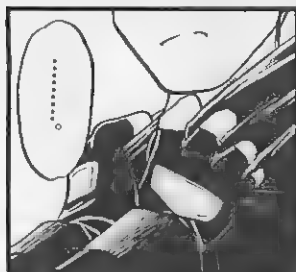
や、やめて。
助けて…。

ひっく！
うえええ。

よ、よかったァ!!
あんた、
たた…助けてくれ!!

ぶ!!!

な、何すんだ
ちくしょう!!

さ、さては
てめえも
あのバケモンの
仲間かあ!?

"がんせきふうじ"!!!
暴走族が…!
悪をうたうなら、徹底して極めるところまでやったらどうだ。
中途半端ほど見苦しいものはない!
…それに、

あいつはバケモノなどではない。
れっきとしたポケモンだ！
宇宙から飛来したもの！
地上の何者をもしのぐ、最強の存在!!

その名は…、デオキシス。

POKET MONSTERS SPECIAL

POKeMON STATES

TEAM GRREN

グリーンチームのポケモン[1]

リザードン／リザードン♂

ほのお
ひこう

- LV.89（第275話現在）
- 特性：もうか
- ずぶとい性格

オーキド博士からもらい、ヒトカゲのころから育て上げたグリーンの分身ともいうべきポケモン。

ゴルダック／ゴルダック♂

みず

- LV.88（第275話現在）
- 特性：ノーてんき
- まじめな性格

人やポケモンの心理を読み、かくれた敵をさがしだすなど、高いエスパー能力を持つ。

カイリキー／カイリキー♂

かくとう

- LV.80（第275話現在）
- 特性：こんじょう
- てれやな性格

偶然のできごとながら、レッドとの交換により進化。腕っぷしが強く、どんな相手でも豪快に投げとばす。

TEAM GREEN

1

Pocket
Monsters
SPECIAL

"ブラストバーン"!!
"バードブラント"!!
出た!!
これが…ばあさんの言ってた究極技!!
ズバババ!!

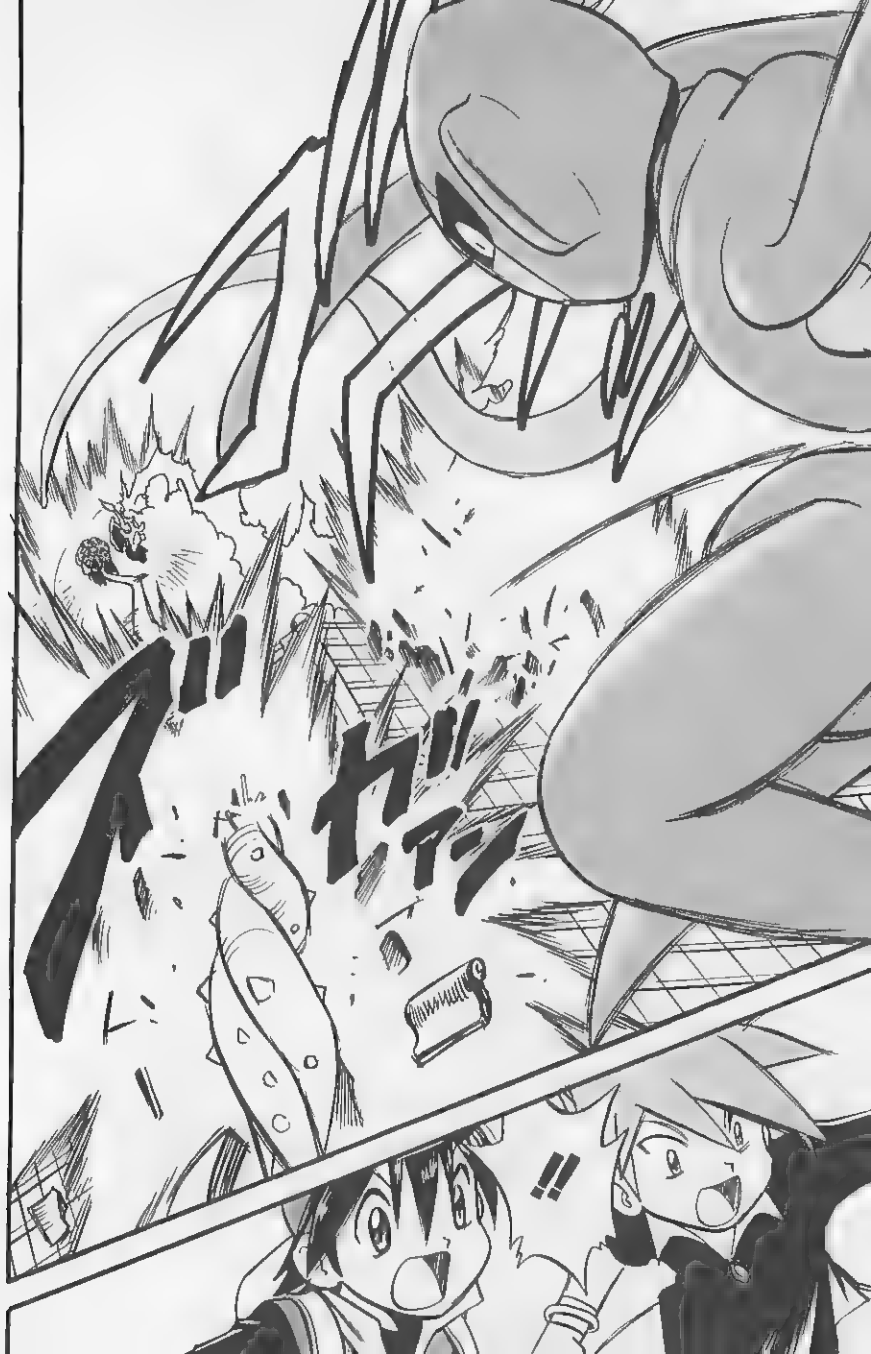
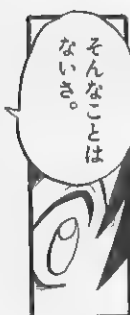
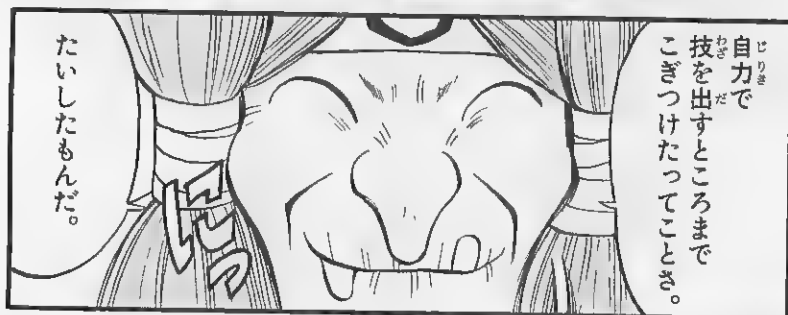
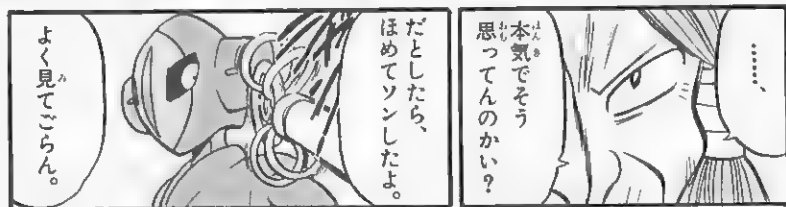
ズガアーン
!!

くそっ!! 技の方向を読んでかわしたのか!

よし!! もう1発だ!!

!!
どういうことだ!? ばあさん!!!
オレたちをだましていたのか!?
だます? 人聞きの悪い。
ウソなんぞこれっぽっちもついちゃいない。
ふざけるな!!

現にオレたちを襲った「敵」とばあさん、あんたはグルだったんじゃないか!!
やはりおまえが事件の黒幕！

!!
メ、メタモン!?

お、おまえブルーのメタモンか!?
レッド、おまえのリュックにはりついて1の島からついてきとったぞ。
2人が修業の道に挑戦してる間に仲良くなったんだもんね〜〜〜。
わしらは遊んどっただけ。それをおまえたちがカンちがいしたんだろ?
……。
ちなみに…、
勝ったほう1人だけに技を伝承しようと言ったのも本当だよ。
ただ、おまえたち実力がまったく互角だった上、同時にゴールしてしまったからね、
わしは2人ともに教えないつもりでいたんじゃ。

それなのに、おまえたちは腕輪の中に封じこめられていた奥義の伝承を自分たちで引っぱり出してしまった。
まあ、教える前に見つけてしまったんだからしょうがない。文句は言えんわい。

あとは自分たちで狙ったところに当てられるように練習しな。

おばあさん。

そうだ、ひとつ言い忘れたわい。

何があったか
知らないが
そのメタモン、
そうとう
せっぱつまって
おったよ。
〝へんしん〟を使って、
船の上で起こったこと
説明してくれよったからな。
よほどの
「敵」
なんだろうね。
そんな敵に
わしが守ってきた
究極技で挑むと
いうなら、
ヒヒヒ！
わしも
鼻が高い!!
…。
心して
かかれよ。
…あ、

ありがとうございました!!
究極技!! たしかに受け取りました!!

それにしてもメタモン、おまえ知らない間についてきて。
ブルーが傷つきおまえもいてもたってもいられなかったんだな。
そのことだが、ひとつ聞きたいことがある。
ぴょい
もう一度〝へんしん〟してみろ。
どうしたんだ?グリーン!
レッド、おまえは疑問に思わなかったか?
モっ
モっ
な、何が?
「敵」の姿についてだ。
思い出してみろ。オレたちはブルーのスコープの残がいに録画されていた映像で、はじめて「敵」の「姿」を知ったな?
!!!
だが、ここで奇妙なことがひとつ…。
オレたちが映像で見た姿とメタモンがさっき変身した姿…、

同じようでいて
ところどころ
ちがっている!!
あ!!!
これは
どういうことか。
敵は複数いるのか?
それとも
ポケモンとしての
進化なのか?
ブクリ
あるいは…、
状況や戦術によって
姿を変化させる
敵なのか…。
勝敗を左右する
であろう、
重要な一点だ。
この疑問に対し
答えを見つけ
られなければ、
オレたちは
おそらく…、
モフ
モフ
勝てない!

そいつを 使って、

レインボーパス

急いで 「4の島」へ 来てくれ!!

レッド、グリーン、そしてブルーを襲った「敵」!!
アイツが「3の島」に現れたんや!!

「4の島」から先へは、トライパスでは行かれへん。レインボーパスゆうんが必要なんや。

わいは「4の島」にある「いてだきの洞窟」で待ってる。

あのナッシー、攻撃をしかけてくる気か!?
おもしろい!!
訓練にちょうどいい。
リザードン!!
"ブラストバーン"!!
うわったったったった!!
待て待て待て待てぇ!!!

マサキ!!
どういうつもりだ!?
すまんすまん、その機械の性能を試してみたんや!!

そいつは、「バトル・サーチャー」いうてな、
ひとことでいうと、「戦意を採り出して知らせる」機械なんや。

半径100m以内に戦う意志を持ったトレーナーがおるとそれをサーチして、相手のいる方向を光が指し示すっちゅうスグレモノや！
2人に役立つ思て、調達してきたんやで。

戦意を読みとる…、
!!

ってことは…！「敵」がオレたちを襲おうと近づいて来たとき、この機械が教えてくれる、そういうことだな!?
そらムリや。
あくまでトレーナーの戦意を読みとる機械やから。

だったら、こんなもの役に立たん。それより「敵」が現れたという話を聞かせろ。

そう言うと
思たで。
けど、今に
わかる。

ここからが
本題や!!
大事な話のな!!

ゴクッ

「3の島」で
「敵」を見たとわいに
連絡してくれたんは、
マヨちゃん、ゆう
地元の小さな
女の子や。

そのときマヨちゃんは
島を荒らしに来た
暴走族にからまれて
たんやが、
そこへ何者かが現れて
暴走族をけちらして
くれた言うとった。

…それが…、
「敵」だったんやで!

なんだって!?
女の子を
助けたのか!?

助けるために
やったんか、
ただ暴れただけ
なんかは
わからん。
問題は
そのあとや!!

マヨちゃんの言うには「敵」はすぐに去ってってそのあと人が…、今度は人間が来たんやて。

あのね、おじさんだったの。マヨのお父さんくらいの…、絵、描いたからFAXするね。

で、送られて来たんが…、

これや!!

!!

胸のマーク!!
…そして、
このいでたち…。

サカキ!!!

わいも目え疑うたで。
解散したはずのロケット団…、しかもその首領が現れたんやからな。

「敵」がサカキの手持ちなのか、それとも単に追いかけてる野生ポケモンなのか、両者の関係はわからへん。

…せやけど、R団が関わっている以上…。
ああ。

かならず戦うことになる!!…もう一度、
サカキと!!

待ち合わせの場所を「いてだきの洞窟」にしたんもな、
地元住民からR団らしき影が出入りしてるっちゅう目撃情報があったからや。

…おもしろい。R団を追うことで、「敵」にも近づけるということか。
な？バトル・サーチャーが必要やっちゅうワケがわかったやろ？

これまで受け身一方だったオレたちが、はじめて追う立場をとれる！
オレたちに戦意を向けている者をさっそくサーチしてみよう!!

あっちだ!!

!!

ガ!!アァ!!

オレたちを洞窟の奥に行かせない気か!!
明らかにトレーナーの指示を受けた動き!!

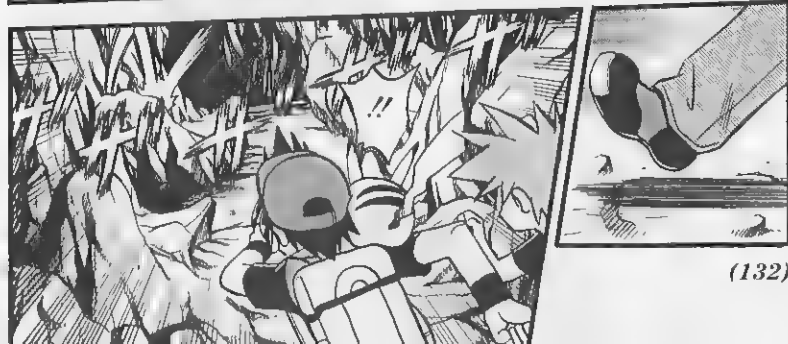
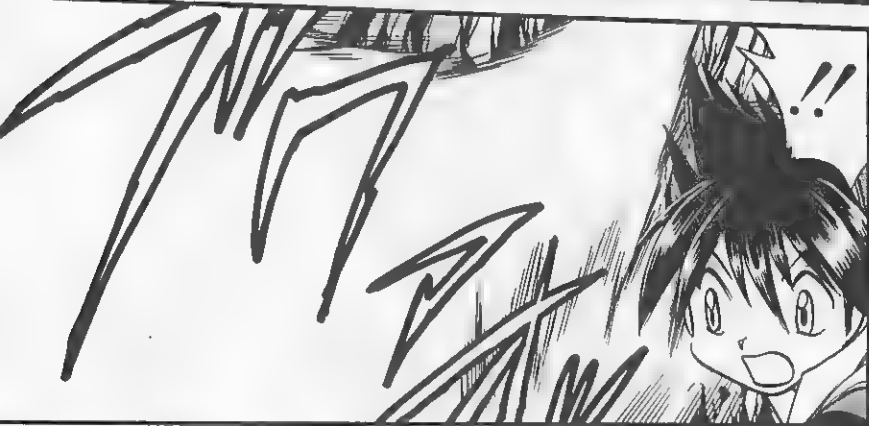
やはりR団がいる!!
よし、フッシー……、

ハア
!!

パキ
パキ
パキ
パキ

故郷に土足でふみこまれて、

頭に来てるのは私も同じなんだからね。

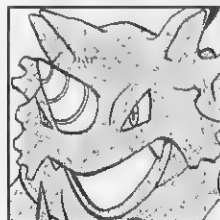
グリーンチームのポケモン 2

ハッサム／ハッサム♂ むし はね

- LV.82（第276話現在）
- 特性：むしのしらせ
- すなおな性格

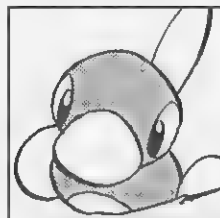
シジマ直伝、トレーナーの「心」で見えない相手をも見切るグリーンの戦法に、もっとも通じている。

サイドン／サイドン♂ じめん いわ

- LV.82（第276話現在）
- 特性：ひらいしん
- おっとりな性格

グリーンが新たに育て上げた一匹。トキワジムで見つかった『大地の奥義』で、強力な能力を身につけた。

ポリゴン2／ポリゴン2♂ ノーマル

- LV.78（第276話現在）
- 特性：トレース
- きまぐれな性格

タマムシのゲームコーナーの景品から、グリーンの仲間に。特殊な場面での活躍が期待される。

Pocket Monsters
SPECIAL
The Fifth Chapter

お、
おまえは…!!
ジムリーダーをしのぐ実力者、カントー四天王の1人…!

カンナ!!

スオウ島の決戦以来姿を消したおまえが、
なぜここに!?
今、話したとおりよ。
ここ4の島は私の故郷。
文明におかされた本土からはなれ、自然を残す美しい島。

…でも、
その故郷を荒らそうとするヤツらが来た。
そう聞いたから…、

もどってきた!!
まさか
あなたたちと
再会するとはね。
パルシェン!!
"とげキャノン"!!

っ、強…!

相手が誰かなんてあまり問題ではないけれど…一応知っておきたいわ。

このいてだきの洞窟の奥にいるのはロケット団!!

さっき、そう言ってたけど…、確かなの?

……。

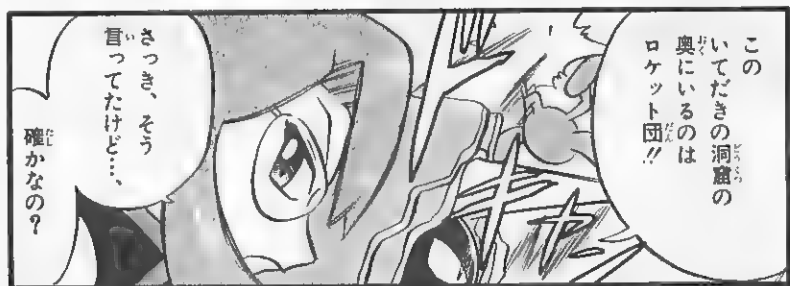
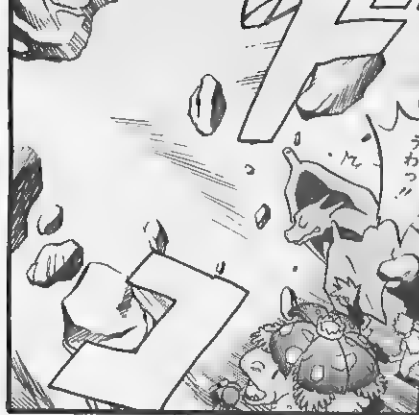
……フッ。私相手には話したくない、そういうこと…。

当然ね。別にいいわ。

今の攻撃の主がR団かどうかは自分で確かめ…、

!?

イヤイヤ、それって正解じゃ〜ん!!

!!

どこだ!?
うわっ!!
さきほど攻撃指示しましたのは、
ぼくたち、ロケット団じゃ〜ん!!

ギュ
ギ
ぐ…、
ギ
ギ
ガ
くあっ！
ギ
あーあ、こいつら弱いねえ、やっぱり。急場でつかまえたポケモンはダ〜メじゃん…。使えないな〜。
使えないヤツは、
バチコ〜ン!!
こうだ!!
ポケモンは使える子だけを使いましょ〜。
な〜〜〜〜、フォレトス…♡

でも、
とりあえずは
筋書きどおり
じゃ〜ん。

マサラ出身の
レッドとグリーン
2人を
捕えましたから。

グリーン!

レッド!

バードプラント!!

〝ブラストバーン〟!!

おっとっと。

うひゃひゃ!! すっごいすごい!! 攻撃じゃん!!

でも、当たらなきゃ意味ナーシですから〜!!

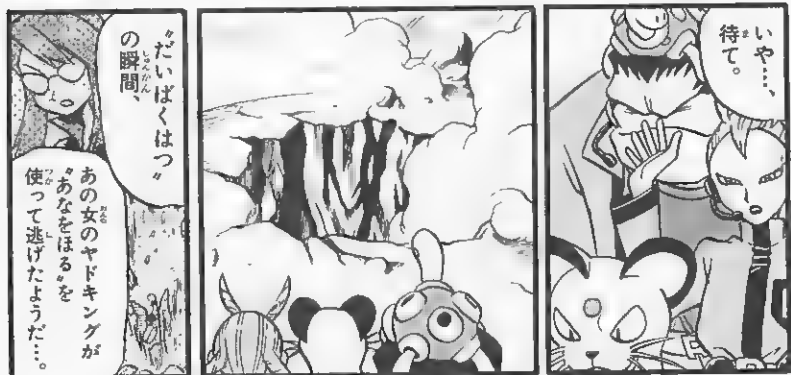
遊びはそこまでにしろ、チャクラ!

さっさと仕上げにかかるんだ!

わ、わかってるよ、サキ!

一応自己紹介しておくか。
我らはロケット団機密部隊、そして首領の忠実な親衛隊。
三獣士サキ！
三獣士チャクラ！
三獣士オウカだな。

首領(ボス)!? すると…!
もちろん、サカキ様(さま)だ。
おまえら…何(なに)をたくらんでいる…。
サカキは…あのポケモンを使(つか)って何(なに)をしようとしている…!!
なぜオレたちが! ブルーが!! ブルーの両親(りょうしん)が襲(おそ)われたんだ!!
知(し)っていることすべてに答(こた)えろォォォォ!!
やだね。
うおおおお!!
レッド!! つっこんではいけない!!
だっ

ズ
ズ
ズ
ズ
あーあ、
おわったな。
ここまで
あっけないと
それはそれで
さびしいん
だな。

いや…、
待て。

〝だいばくはつ〟の瞬間、
あの女のヤドキングが〝あなをほる〟を使って逃げたようだ…。

チャクラ！だから言っただろう！
いいんだよ、サキ!!
隠れたって、
出てこざるをえなくするだけだから。

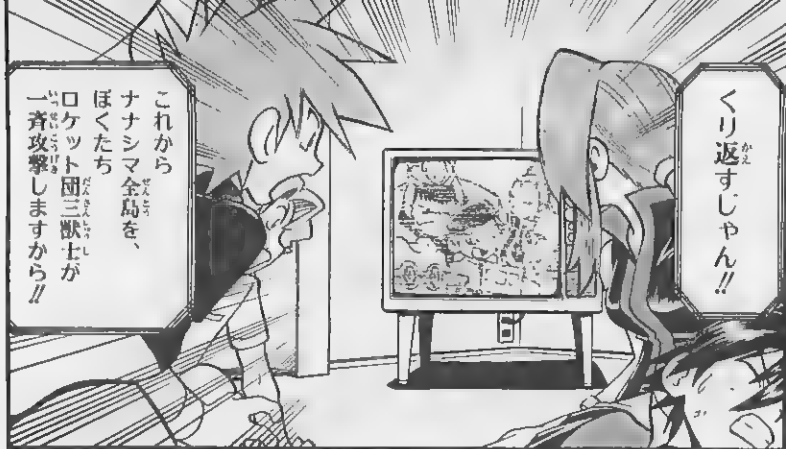
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ

なんだ？このヌイグルミだらけの部屋は？
私の家よ！文句ある!?

これからナナシマ全島に、ぼくたちロケット団が一斉攻撃しますから!!

WANTED

ナナシマの皆さん、攻撃をやめてほしかったらどこかに隠れているマサラ出身のレッド、グリーン、ブルーをさし出すじゃ〜ん!!

Pocket Monsters
SPECIAL

くり返すじゃん!!
これから
ナナシマ全島を、
ぼくたち
ロケット団三獣士が
一斉攻撃しますから!!

む!!
島がゆれてる!!
この4の島全体を
ゆさぶるような
震動は…!!
何かが
起きている!?
!!

手はじめにぼく、
チャクラが5の島を!!

6の島をオウカが!!

7の島をサキがどどーんと壊滅させに行きますから!
カクコするじゃん!!

マサラタウンのレッド、グリーン、ブルーをかくまってるヤツ!!
攻撃をやめてほしかったら、

さっさと3人をさし出すじゃ〜〜〜ん!!

ゴゴゴ

…。
ナナシマ全島を一斉攻撃…!!
ロケット団ならやりそうなことや。
でも、もっと問題なんは攻撃の目的が…、
レッド、グリーン、ブルーをとらえるためっちゅーことや!!
なんでなんや!!
わからん…。
だがオレたちが狙いであることがハッキリした以上、隠れているわけにはいかない。
望むところだ。こっちから出向いてやろう。
オレも…行く。
待って…くれ、…グリーン。

7の島に行くのは私…。

そういうことになるわ。いいでしょう？

カンナ…。

ああ、たのむ!!

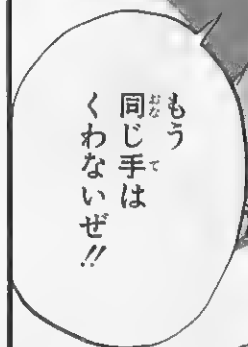
ドドドドン
なんかいったか?
ギロッ
ギク
こ、ここまで来たら乗りかかった船…いや、乗せかかった船だ!! ハハハハハハハハハ!!
ったく、このシーギャロップ号をタクシーがわりかよ。
ねるヒマもありゃしねェ!!
レッド、見えたわ!! 5の島よ!
とことんまでつきあうぜっ!!
ちくしょ〜
よし!!
先に行く!!!
バサッ

さあて、
攻撃、はじめちゃおっかな〜。
ぼくの攻撃ホンットすっごいですから〜!!
島ごと消し飛んじゃうじゃ〜〜〜ん!!
"りゅうのいぶき"!!
ドウオォ
あはははは。

よーし、ポケモンセンターにつっこんで…、

〝だいばくはつ〟!!

ドッカアーンッ!!

あれ？
ブス
ブス
爆発しないで
ケムリが
くすぶるだけ？
どう
なってるじゃん？
フォレトス。
また
〝だいばくはつ〟か？
もう
同じ手は
くわないぜ!!

おまえ、しぶとく追ってきたじゃん!!
どうやってフォレトスの"だいばくはつ"を防いだのか知らないですけど、
ぼくのジャマをするその態度が、
気にくわないですからアァ!!
小細工できないよーにバックリいかせてもらうじゃあん!!
ギャハハハ、ざまーみろじゃん!!
ブルブル
!!

!!
〝だいばくはつ〟を
無効にしたのは、
このニョロ!!
爆発系の技を
封じる特性
「しめりけ」を
持つ、勇敢な
オレの仲間だ!!
そして…、
たよれる
格闘戦士でも
ある!!
くらえ!!
〝きあいパンチ〟!!

ゆ、ゆ、ゆ、ゆ
ゆるさないじゃくん!!
口がダメならシッポでくしざしにするまでですからアー!!
〝アイアンテール〟!!

受け止めたァ!?

いててて、…な、なんで?
なぜ競り負けたのかわからないか?

サカキ様に命じられた作戦は…、……おまえたちを使ってDNAポケモンのデオキシスをおびきよせること。

だから、なんとしてもおまえたちを確保する必要があったんじゃぁん!!

6の島

は〜〜〜。

まったく
はりあいが
ないんだな〜。

この
6の島の
人たち、

弱すぎるんだな〜〜。

…う。

うう…。

お〜〜〜。
自分から出向いて来たんだな！感心なんだな!!
リザードン!!
〝かえんほうしゃ〞!!!

!?
簡単に焼きつくせると思わないほうがいいんだな。
甲羅の中に隠れてしまえば、ツボツボに炎攻撃は効かないんだな。
そして…、

"どくどく"か!!
しまった!!

ぐ…ううえ！
おやおや、ずいぶんイヤそうな顔をするんだな〜〜〜。
ちょいちょい
この子たちだって見なれてみれば、かわいく見えてくるんだな〜。
すべての生命は家族なんだな〜。
家族は大切にするんだな〜。
お〜〜〜、そうそう！グリーン、おまえにも大切な家族がいるって、
サカキ様から聞いてるんだな。
ウィン
今、元気にしてるかたしかめてみるんだな。
ウィン

オ、オレたちを使って…デオキシスを呼びよせる…!?
デオキシスって…まさか…!!
そうじゃん。シーギャロップ号に現れた、あのポケモンじゃん!!

なぜオレたちがヤツをおびきよせることができるんだ!?
し、知らねーじゃん!! でも首領が言ってましたからァ!!

「デオキシスとマサラの図鑑所有者は引かれ合っている!!」
「レッド、グリーン、ブルーの集まるところ、ヤツは現れる!!」って!!

●出身地：コガネシティ
●誕生日：12月31日
●血液型：O型
●職業：転送システム開発・管理者、ポケモン評論家、ポケモン協会役員

若くして数かずの教育機関を卒業しているエリート。高い知能指数を持ち、ポケモン転送システムを作り上げた中心的人物。
ナナミを助手としてハナダの岬の小屋で研究中。現在はナナシマ調査の為、レッドたちと行動をともにしている。フルネームはソネザキマサキ。

Pocket Monsters SPECIAL

The Fifth Chapter

1の島
ネットワークセンター

ナナシマの
皆さ〜〜ん!
攻撃を止めてほしかったら
レッド、グリーン、ブルーを
さし出すじゃ〜ん!!

ナナシマ全島に
流れている、
この
わりこみ映像!!

WANTED

強力な電磁波で
ナナシマの
テレビ放送網に
強引に入り
こんだのか!!

見ろ!
5の島も、
6の島も、
7の島も!!

襲撃を受けて
ひどい状態だ!!

平和だった
ナナシマが!!

オオオ

この3人が
センターに
来たことは
わかってんだ!!

こいつらを
さし出せば
襲撃はやむんじゃろ?

さっさと
出して!!

ワーワーワー
…い、
行か…なくちゃ。
ヨロ…
ヨロ…

5の島
あのポケモンの名は…、デオキシス!!
ヤツとマサラの図鑑所有者は引かれ合っている!
オレたち自身が…ヤツを引きよせる存在だと!?
それは本当なのか!?

う…、助けて…だれか。
くく…
は!
被害にあった人びとのフォローをしなきゃ。
フッシー、そいつをはなすなよ!!

大丈夫ですか!? この島を襲ったヤツは捕えましたから!
もう心配はいりませんよ!!
はなして!!
「心配はいらない」ですって!?
冗談じゃないわ!!

放送を見たのよ!!
このナナシマが今襲われているのは、あんたたちのせいだっていうじゃないの!!
だとしたら!今、襲ったヤツを捕まえたところで、
あんたたちがいるかぎり、また襲われるかもしれないってことじゃない!!
ニヤニヤ
それは…。
お〜〜〜!!
ザッ
レッド!さっすがやな〜。
さっそくこのチビを撃退したんやな?
…あれ?レッド?
すたっ

どうしたんや？
レッド。
出ていって!!
そうだ!!
おまえらが
このナナシマに
これだけの被害を
もたらしたんだ!!
さっさと
出ていけ!!
よそものォ!!
お、おおお、オイ!!
なんちゅうこと
言うんや!!
レッドは助けに
来たんやないか!!
この島の事件を解決しようと
知恵をしぼって技を鍛えて、
戦ってきたんやないか!!
それに、レッドは
図鑑所有者やで!!
あのポケモン学の権威
オーキド博士が認め、
ポケモン図鑑を託した
トレーナーや!!
特別なトレーナー
なんや!!

ならば、その図鑑を見せてみろ!
特別なトレーナーだという証しを見せてみろ!!
……。

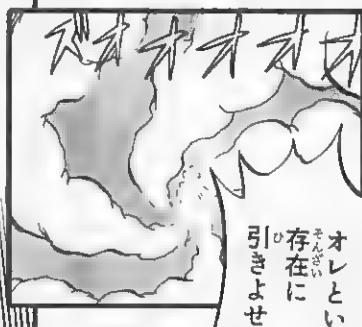
今は…、
…ない。

ほら見ろ!! 厄病神の上、ウソつきだ!!
なんやてェ!?
マサキ!!

いいんだ。
やめてくれ。

レッド…。

!?
マサラの図鑑所有者と引かれ合う、
ポケモン…、デオキシス…。
オレたち…自身が…、
ヤツを引きよせる…存在!!

な、なに言うとるんや!? レッド!!
マサキ、理由はわからない。
…でも、今ハッキリとした感覚がある!!
ヤツが現れた!!
オレという存在に引きよせられ、
今、ヤツが…、
ここに現れた!!

キターッ!!
来た来た来たーッ!!
こいつがデオキシス!!
本物だ!!はじめて見た!!
半分透明なシルエットは、
メタモンが目撃したというほうの形!!
スススス
イヤ、姿が変わった!!
スコープに録画されてた映像と同じ形に!!

ピカ!!
だっ
よし、
"10まんボルト"だ!!
ズズズ

さ、さらに変わった!!
また別の形に!!

グリーンの予想どおりだ!!
敵は、複数いるのか? それともポケモンとしての進化なのか? あるいは状況や戦術によって姿を変化させる敵なのか……。
敵は1体!! …でも、状況や戦術によって姿を変化させる…特殊な種類なんだ!!

そ〜じゃく〜ん!!
名づけて、
『フォルムチェンジ』!!!
『フォルムチェンジ』!?

キュオオオオ

いくぞ!! ピカ!! プテ!!

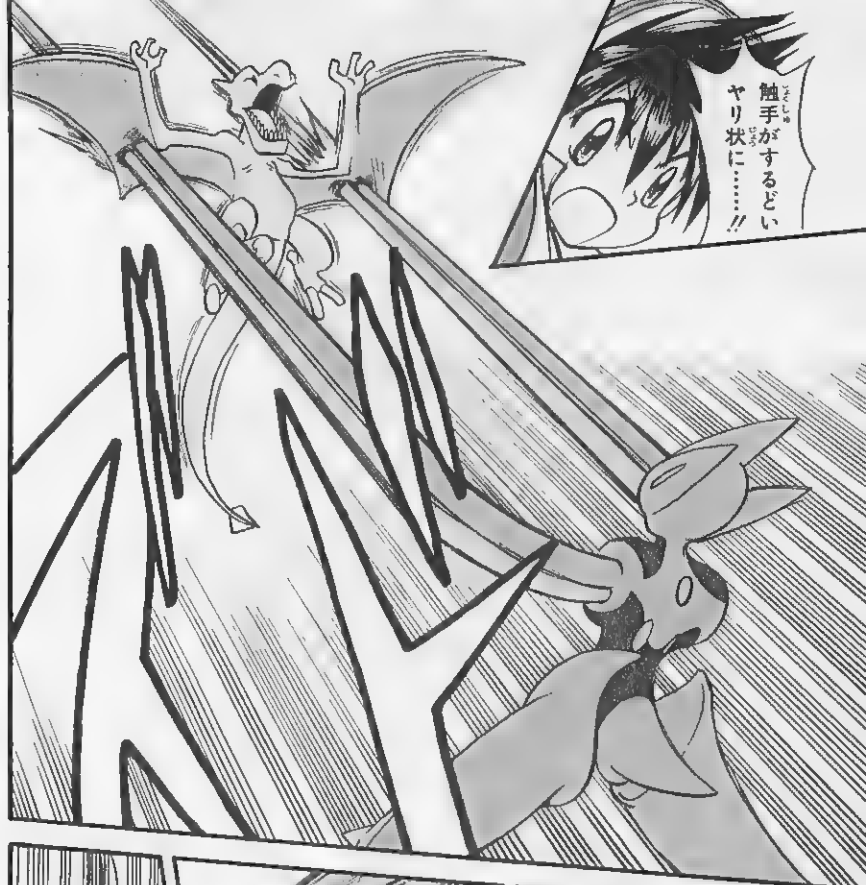
触手がするどい
ヤリ状に……!!
プテェ!!!
はしっ

ゴン!!

微動だにしない!!

さがれ、ゴン!!

コオオオオオ

っ…常に変化を!!

どうやってこの能力を攻略すればいいい!?

図鑑さえあれば…!!

…いや!!図鑑がないのなら、

この目で攻略法を探すまで!!

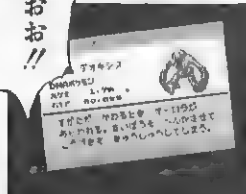
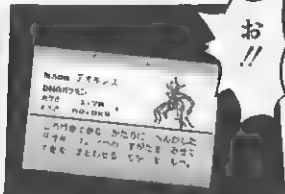
ピカ!見たところ、さっきの「触手のとがった姿」は攻撃力が高くて、

あの「ズングリした姿」は防御力が高いみたいだ!

ギャラ!!

「拳で殴ってきた姿」の特徴だけはまだ謎。姿も半分透明で、

はっきり見えない。

おお〜!! なかなかの洞察!!
そこまでは正解ですから〜〜〜!!
ちなみに名前を教えてあげるならば、攻撃型はアタックフォルム!!
防御型はディフェンスフォルムと呼んでるじゃぁん!
さあて、間近で観察した結果は…。
お!!
おお!!
うひゃひゃ! ホレボレするじゃん♪
並のポケモンをはるかにしのいでいることが、よっくわかりますから!!
ぴょんこ ぴょんこ
あの機械…、
色は黒やけど見た目も機能も…!!
ポケモン図鑑にそっくりや!!

おい、おまえその機械!!
なんでそんな機械を持っとるんや!!

る〜る る〜〜♪
もっともっと観察するじゃ〜ん♪

だって「フォルムチェンジ」の秘密は、
まだまだこれだけじゃないですから〜。

おまええ!!
おっとっとじゃ〜ん!

レッドやグリーンは言うとった!!
オーキド博士が消え、ポケモン図鑑を取り上げられた!!それが事件のはじまりやったと…!!

そのこと自体がおまえらの差し金やないんか!?
オーキド博士はおまえらがさらったんとちがうんか——!!?

そうなんだな〜〜〜。
オーキド博士をさらったのは、
我ら三獣士なんだな〜〜〜。

き…きさまらあああ!!
ムダなんだな。
カイリキー!ハッサム!!
オレたちに当たってもかまわん!!全力でこのツボツボを引きはがせ!!
"はかいこうせん"!!!
"メタルクロー"!!
ぐあっ!!
うはっ!
ゲヘヘ、ゲヘゲヘッ。
すごい覚悟。
やっぱり家族を想う気持ちの強さは何にも勝るものなんだな。

でも、結びつきの強さはツボツボも同じなんだな。
かわいいかわいい、よーしよーし!!
ナデナデ
終わったらお花畑でお散歩しようね〜〜。
いててててて!!!
なんだ、なんだな!!?
ギュルルルル
ドリル!?
どどーーーん
これだけ多数のポケモンに、同時に命令できるはずがない!!
とすれば、おまえの手持ちのツボツボが全体の指揮をとりあとはすべて野生!!
その一匹さえ戦闘不能にすれば、全体の統制は崩れる!!

ハッサムとカイリキーの攻撃は、おまえをサイドンの真上に誘導するためのものだった。
おまえは気づかなかっただろうがな。

お散歩は夢の中でしていろ!

おじいちゃん……、
どこに……。

ああ…、
6の島も7の島も
ひどいことに…。

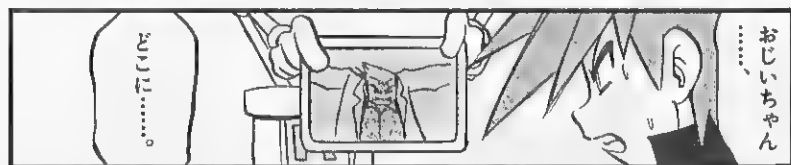
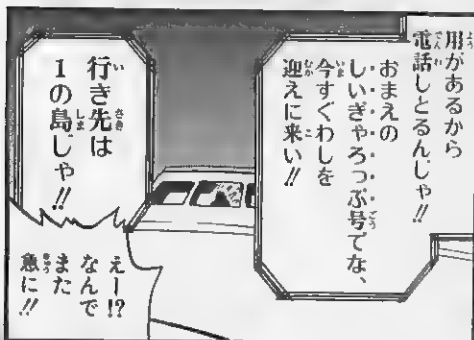
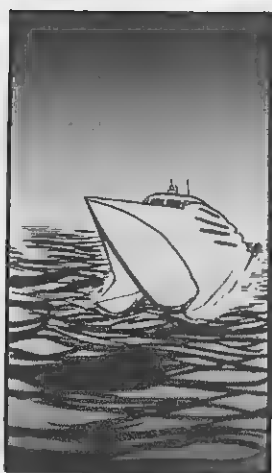
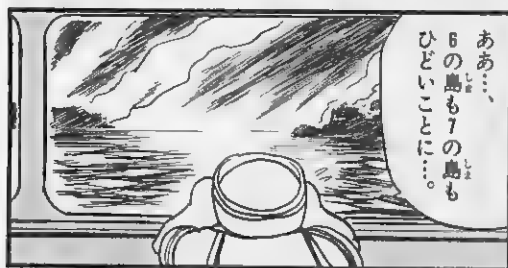
レッドと
グリーン、あと
メガネの姉ちゃん
大丈夫かな…。
ん？

わしじゃ!!
キ、
キワメさん!
な、何か用?
ゲッ

用があるから
電話しとるんじゃ!!
おまえの
しいぎゃろっぷ号でな、
今すぐわしを
迎えに来い!!
行き先は
1の島じゃ!!
えー!?
なんで
また
急に!!

つべこべ言わんと
さっさと来い!!
最高すぴぃどで
じゃぞ!!!
ひえ〜〜〜!

……。

おばあさん…!

仮習得ですが…オレは「草」の究極技〝ハードプラント〟、
グリーンは「炎」の究極技〝ブラストバーン〟を受けつぎました。
うむ。
ということは考えたんですが。そこに残った輪…。
その中には…、
「水」の究極技が記憶されている。
ちがいますか!?
それを知ってどうする?
メタモンが「シーギャロップ号で起きたこと」を説明したのなら話は簡単です。
オレたちと一緒にナナシマに来たブルーという女の子がいる
カメックスを使うトレーナーで実力も高い！

その娘が「水」の究極技を受けつぐにふさわしい者じゃと?
今、彼女は1の島にいます。今回の件でとても傷ついていてできれば戦わせたくない。
事件はオレとグリーンの手で解決できれば、と思っています……。
…でも…、オレたちがそう願っていても彼女はやってくる。
そういう気がするんです……。
「草」の究極技"ハードプラント"、
「炎」の究極技"ブラストバーン"、
……そして。
「水」の究極技"ハイドロカノン"!!

ヒュウウウウ
まさかこれらを受けつげる者が3人まとめて現れる日が来るとは…。
運命が動き出しておる…、という証拠じゃろうなあ。

ゴゴゴゴ

見ろ、ピカ。上空を雲がおおっている、

…できるか？

いけぇ!!
"かみなり"だ!!

ガク
ガク

やった!!
ピカ、おまえの
狙いが当たったぞ!!
このポケモン、
胸の水晶体が
生命の中心だった
みたいだ!!
ザッ

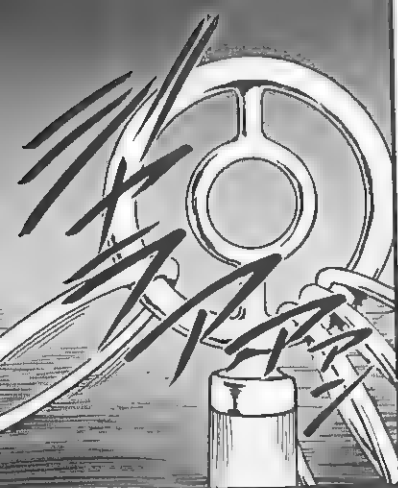
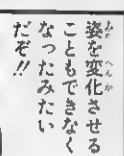
姿を変化させる
こともできなく
なったみたい
だぞ!!

ギュ
ギュ
ギュ

ピカ、もう一度〃かみなり〃だ！胸の水晶体を…!!

なるほど〜デオキシスの特性「プレッシャー」で、

ピカチュウの〃かみなり〃はもう出ませんか。

〈ポケットモンスタースペシャル第23巻おわり／第24巻へつづく〉

力が足りなかった。

負けたんだ。

オレたちは。

DNAポケモンデオキシス。

圧倒的な力の差を知り打ちひしがれるレッド。

次巻予告!

敗北が生み出す不安、

それは——

どういう意味だ?
戦ってないヤツはなんだっていえるって意味だよ!!
友情・自信・誇り…
なんだと!?
積み上げてきたもの全てを一瞬で砕いた――!!
フフ…だから…、
ポケモン図鑑も取り上げられてしまったのかもしれないな…。
!!!
苦しむレッドの前にあらわれたのは
ポケットモンスターSPECIAL第24巻!
…レッドよ、
今、おまえがいだくその思い…、オレにもよくわかる。
失いかけた自分を…取りもどせ!!!!

てんとう虫コミックススペシャル　「小学三年生」「小学四年生」連載作品

ポケットモンスタースペシャル

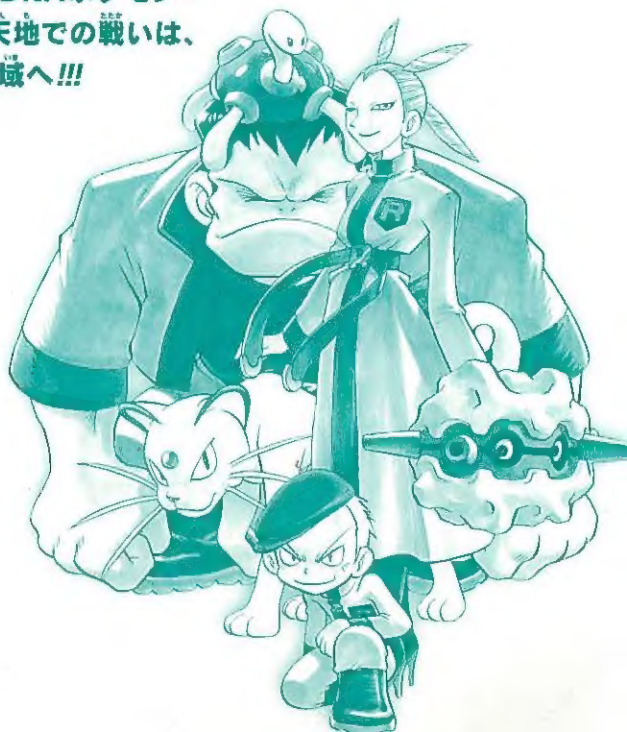
2006年11月25日　初版　第1刷発行　（検印廃止）

シナリオ　日下秀憲
まんが　山本サトシ
©2006 Pokémon
©1995-2006 Nintendo／Creatures Inc.／GAME FREAK inc.
発行者　黒川和彦
印刷所　三晃印刷株式会社
PRINTED IN JAPAN

発行所　（〒101-8001）東京都千代田区一ツ橋2の3の1
TEL 編集03(3230)5397
販売03(5281)3556
株式会社 小学館

ISBN4-09-140254-2

編集／藤田健一　編集協力／長澤優美子・笠原 宙（十八VAN PLANNING）
本文デザイン／瀬川真由美・高野 册

導かれるようにナナシマへ向かう
レッドとグリーンに次つぎ試練がおとずれる!
強大な相手に挑むためのパワーアップ、
ふたりは老婆キワメのもと
「究極技」習得に乗りだすが……!?
襲い来る敵の名はDNAポケモン・
デオキシス!!　新天地での戦いは、
早くも未知なる領域へ!!!

ポケットモンスターSPECIAL 23

第270話

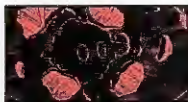
第271話

第272話

第273話

第274話

第275話

第276話

第277話

第278話

第279話

ISBN4-09-140254-2

C9979 ¥438E

定価：本体438円＋税

雑誌 45212-54　　小学館

導かれるようにナナシマへ向かう
レッドとグリーンに次つぎ試練がおとずれる!
強大な相手に挑むためのパワーアップ、
ふたりは老婆キワメのもと
「究極技」習得に乗りだすが……!?
襲い来る敵の名はDNAポケモン・
デオキシス!!　新天地での戦いは、
早くも未知なる領域へ!!!